

第27回 江東区政世論調査〈概要版〉



【調査設計】

- ・調査対象 江東区在住の満18歳以上の男女
(外国人を含む)
- ・調査対象者数 3,000人
- ・調査方法 郵送配布－郵送・Web回収法
- ・回収数 1,461人
- ・回収率 48.7%
- ・調査期間 令和7年7月16日～8月8日

【報告書〈概要版〉の見方】

- ・回答結果は、回答者数を基準とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

江東区

令和7年(2025年)12月

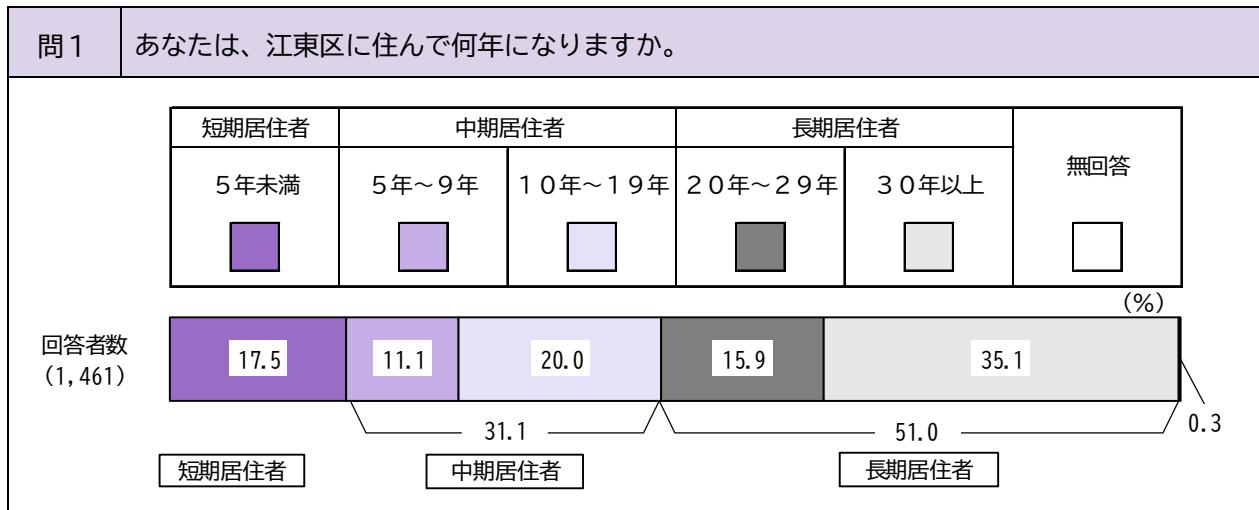
【調査項目】

1. 定住性 ······ 1
2. 防災対策 ······ 4
3. ごみ・リサイクル ······ 9
4. 交通・まちづくり ······ 11
5. 選挙 ······ 15
6. 区議会 ······ 18
7. 図書館 ······ 19
8. 環境・緑化 ······ 20
9. 公園 ······ 23
10. こども ······ 26
11. シティプロモーション ······ 27
12. 広報 ······ 30
13. DX・ICT ······ 37
14. 男女共同参画 ······ 42
15. 施策への要望 ······ 43

1 定住性

(1) 居住年数

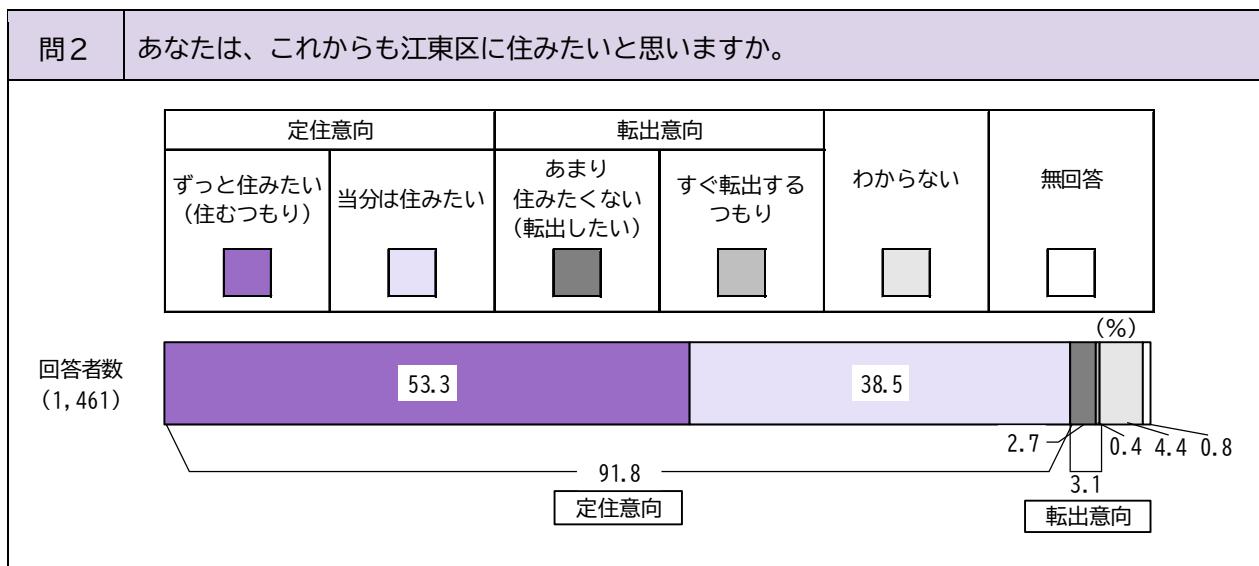
◇「長期居住者」は5割を超える



○居住年数については、「20～29年」（15.9%）と「30年以上」（35.1%）の2つを合わせた「長期居住者」（51.0%）が5割を超えていている。

(2) 定住・転出意向

◇「定住意向」は9割を超える

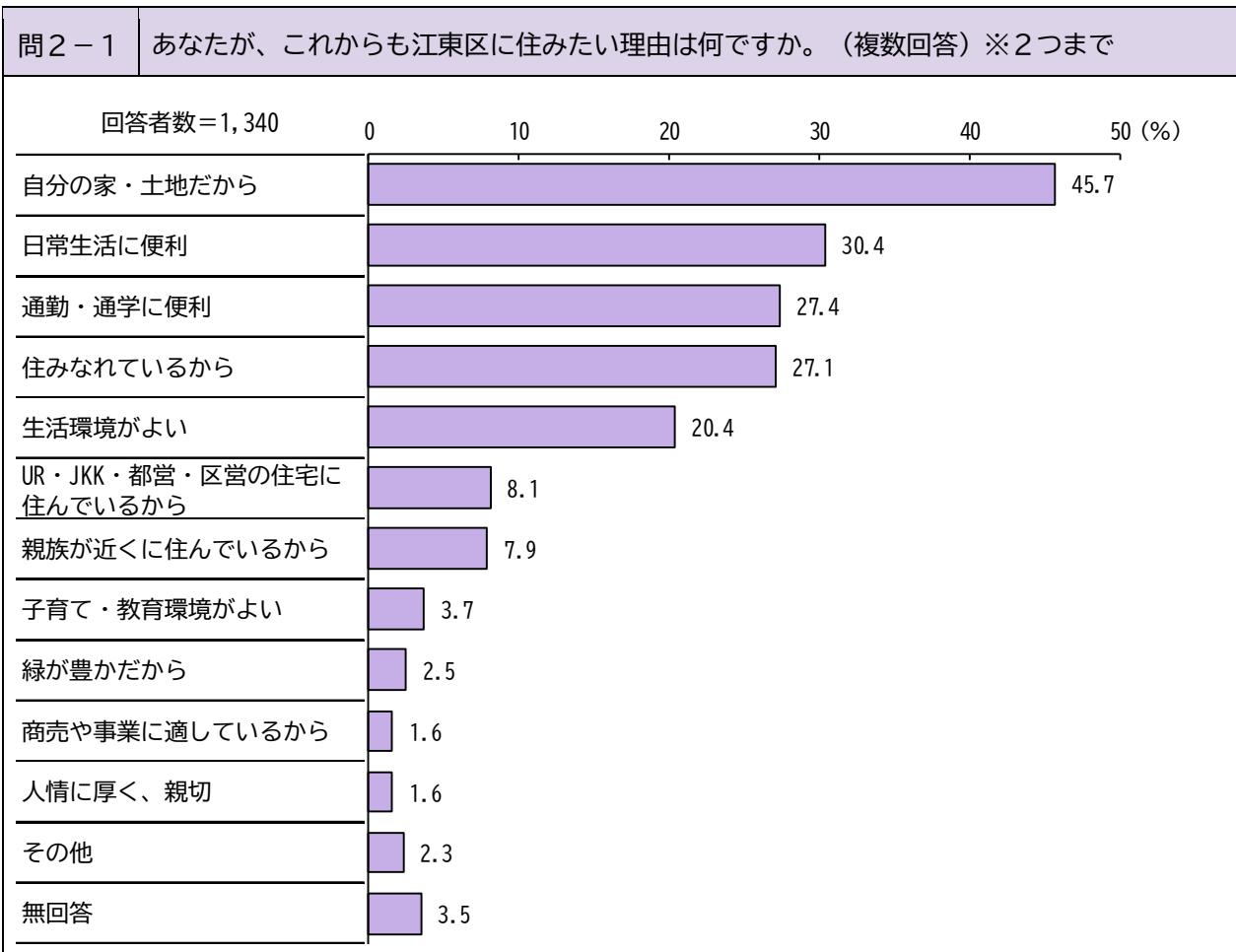


○定住・転出意向については、「ずっと住みたい（住むつもり）」（53.3%）と「当分は住みたい」（38.5%）の2つを合わせた「定住意向」（91.8%）は9割を超えてている。

1 定住性

(3) 定住意向理由

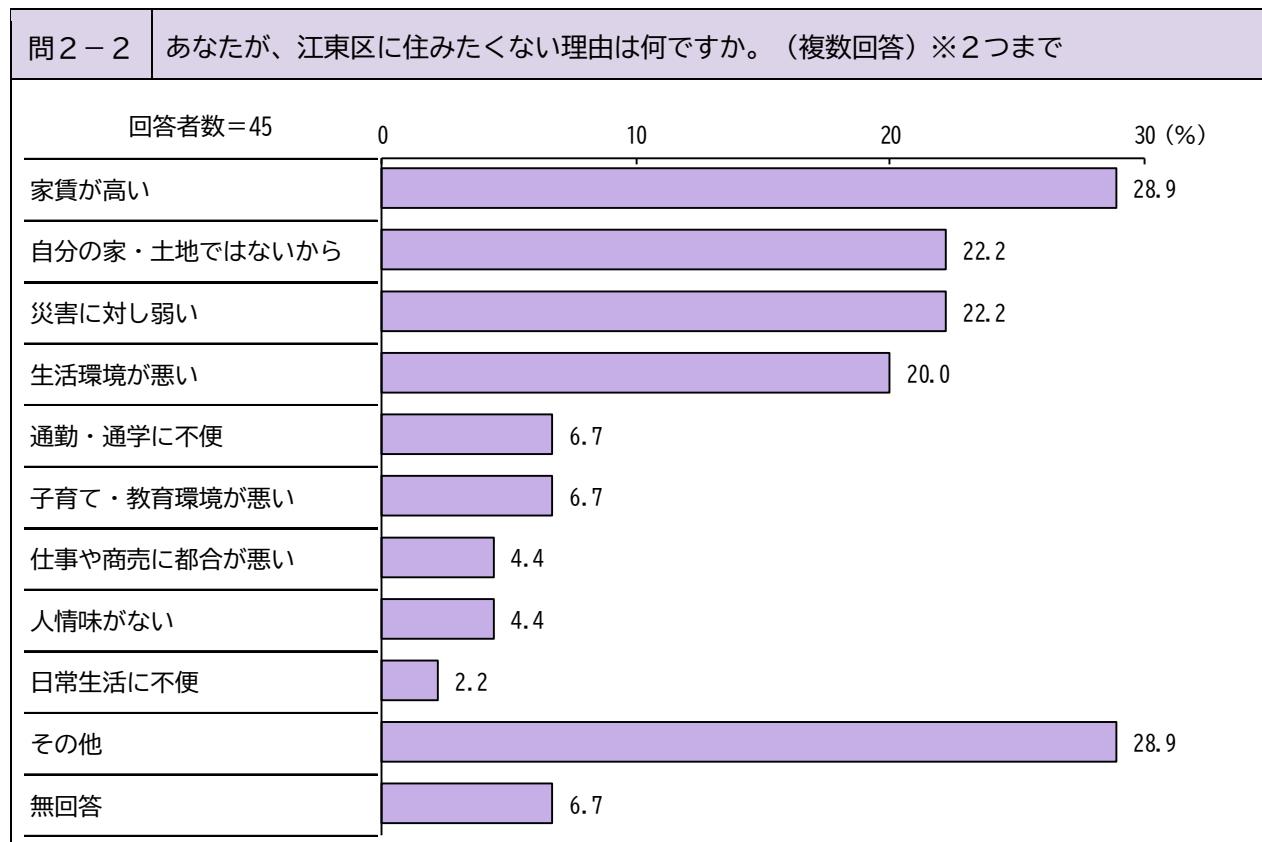
◇「自分の家・土地だから」が4割台半ば



○定住意向理由については、「自分の家・土地だから」（45.7%）が4割台半ばで最も多く、次いで「日常生活に便利」（30.4%）、「通勤・通学に便利」（27.4%）と続いている。

(4) 転出意向理由

◇ 「家賃が高い」が3割近く

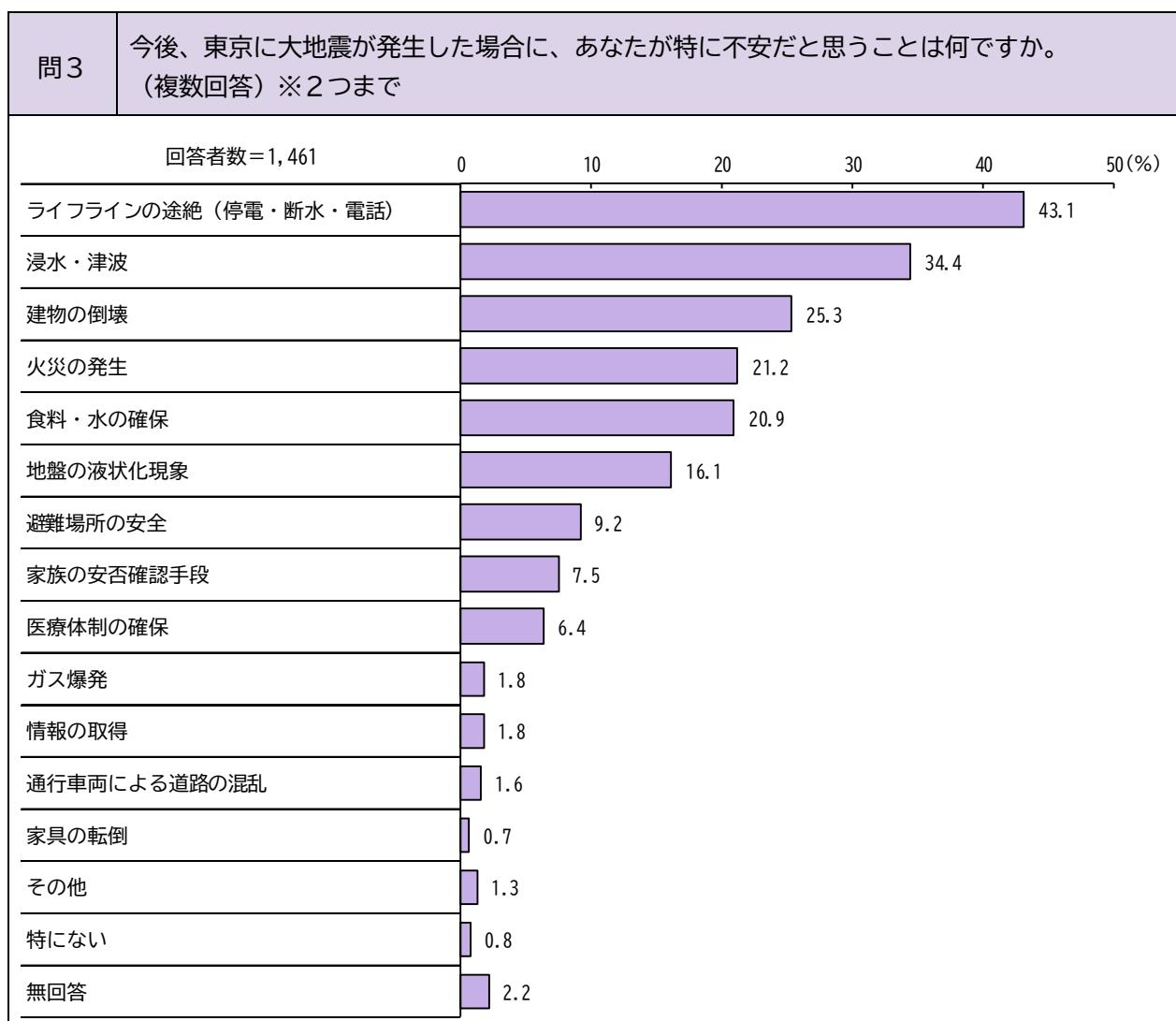


○転出意向理由としては、「家賃が高い」（28.9%）が3割近くで最も多く、次いで「自分の家・土地ではないから」（22.2%）、「災害に対し弱い」（22.2%）、「生活環境が悪い」（20.0%）と続いている。

2 防災対策

(1) 震災時の不安

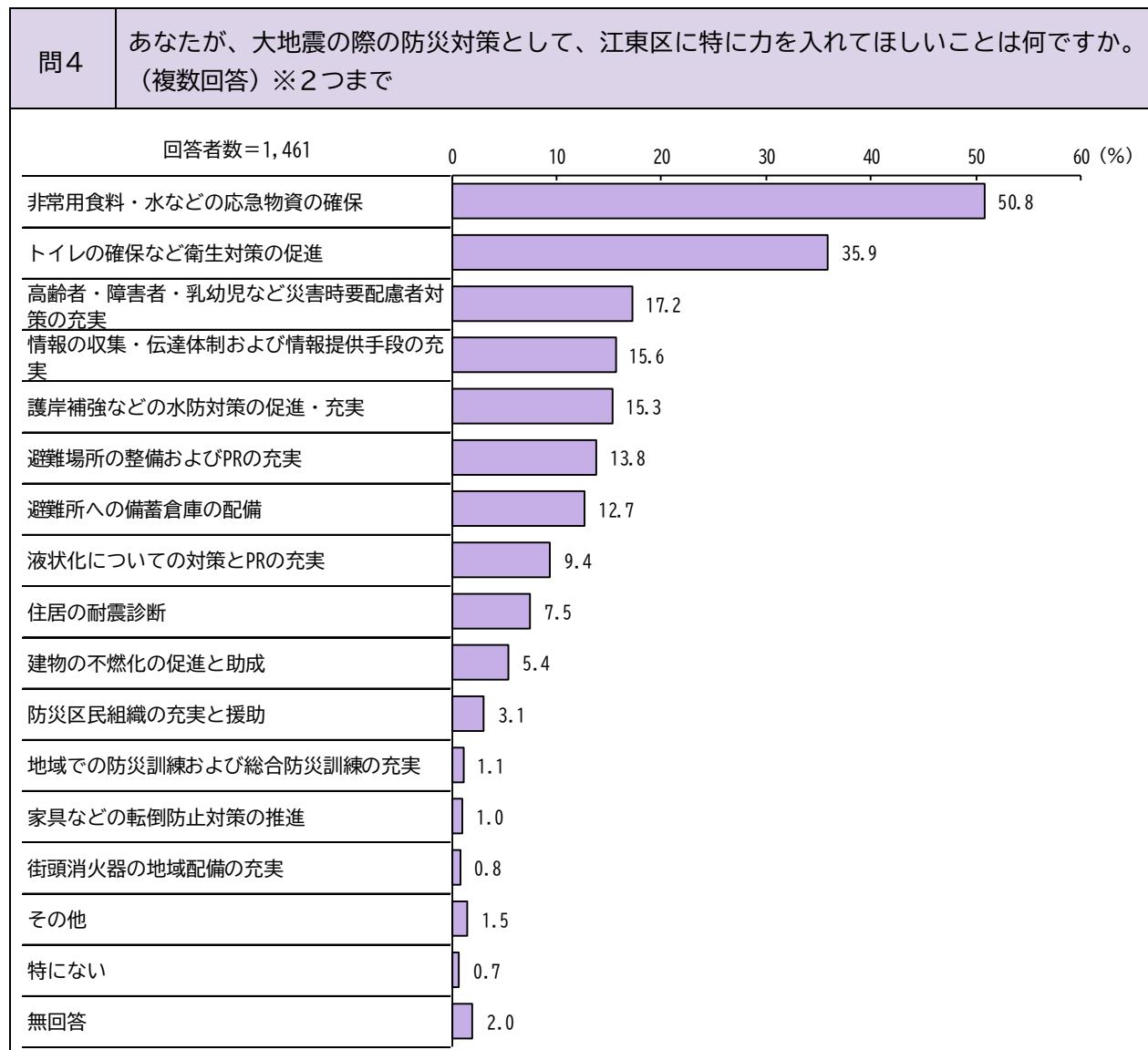
◇「ライフラインの途絶（停電・断水・電話）」が4割を超える



○大地震が起きたときに特に不安だと思うことを聞いたところ、「ライフラインの途絶（停電・断水・電話）」（43.1%）が4割を超えて最も多く、次いで「浸水・津波」（34.4%）、「建物の倒壊」（25.3%）と続いている。

(2) 大地震の際の防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」がほぼ5割



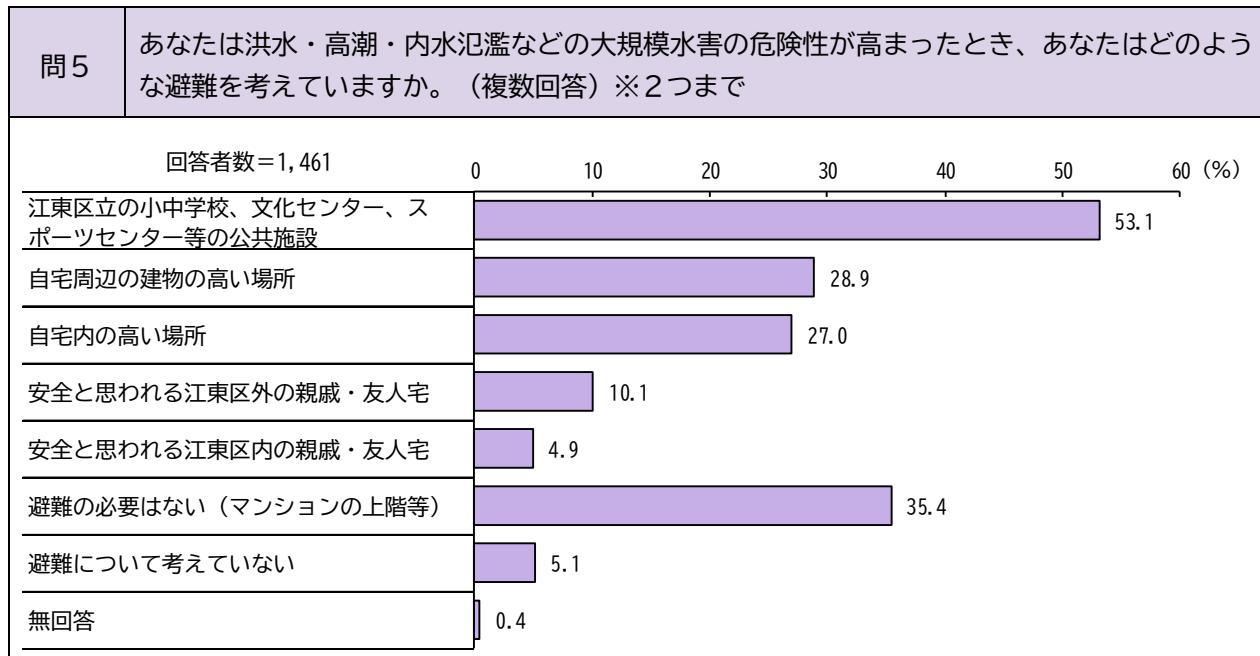
○大地震の際の防災対策として江東区に特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「非常用食料・水などの応急物資の確保」（50.8%）がほぼ5割で最も多く、次いで「トイレの確保など衛生対策の促進」（35.9%）、「高齢者・障害者・乳幼児など災害時要配慮者対策の充実」（17.2%）と続いている。

2 防災対策

(3) 大規模水害時の避難場所

新規

◇ 「江東区立の小中学校、文化センター、スポーツセンター等の公共施設」が5割を超える

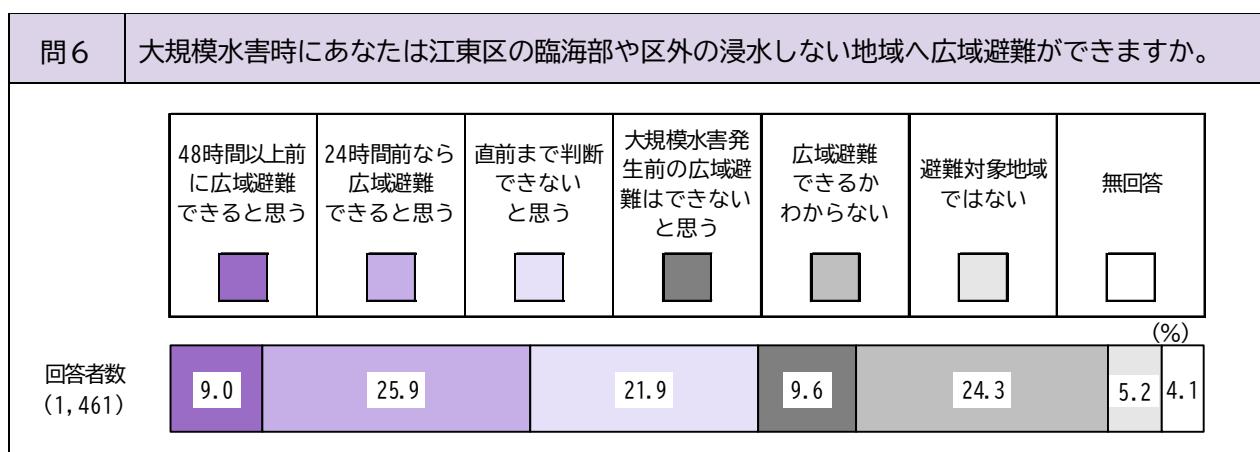


○洪水・高潮・内水氾濫などの大規模水害の危険性が高まったときの避難について聞いたところ、「江東区立の小中学校、文化センター、スポーツセンター等の公共施設」(53.1%)が5割を超えて最も多く、次いで「自宅周辺の建物の高い場所」(28.9%)、「自宅内の高い場所」(27.0%)と続いている。

(4) 大規模水害の際の広域避難について

新規

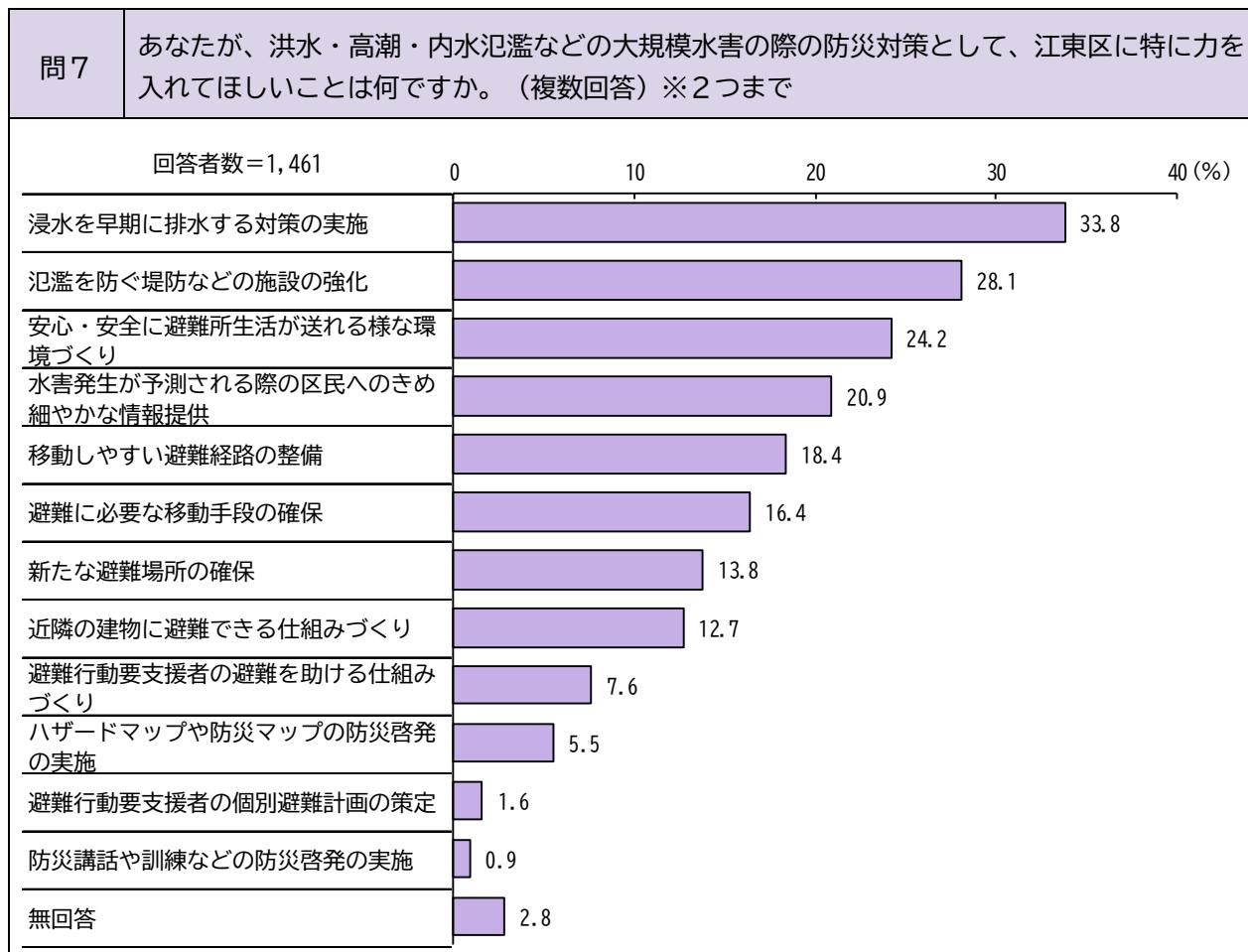
◇ 「24時間前なら広域避難できると思う」が2割台半ば



○大規模水害時にあなたは江東区の臨海部や区外の浸水しない地域へ広域避難ができるか聞いたところ、「24時間前なら広域避難できると思う」(25.9%)が2割台半ばで最も多く、次いで「広域避難できるかわからない」(24.3%)、「直前まで判断できないと思う」(21.9%)と続いている。

(5) 大規模水害の際の防災対策への要望

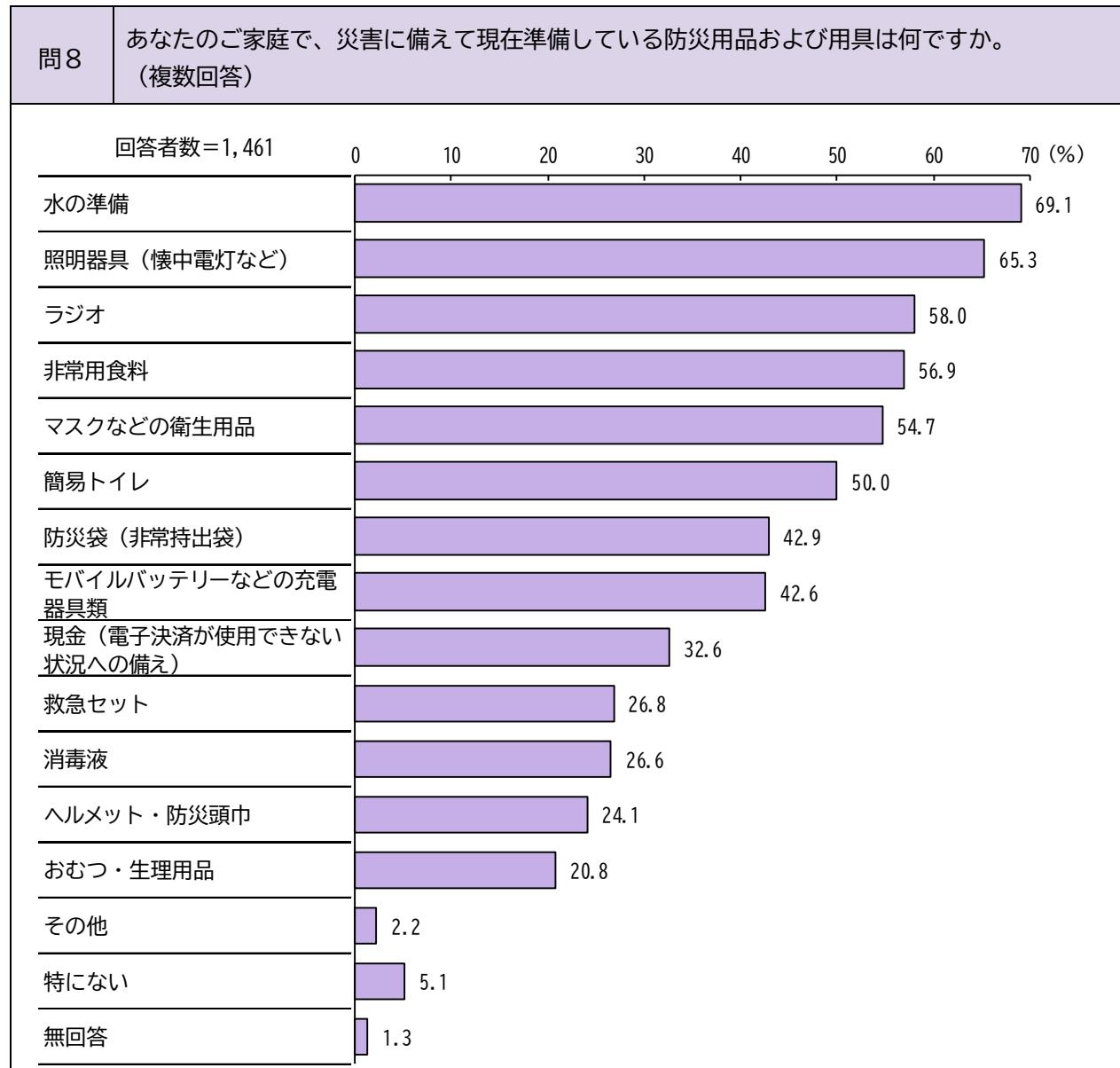
◇ 「浸水を早期に排水する対策の実施」が3割を超える



○洪水・高潮・内水氾濫などの大規模水害の際の防災対策として江東区に特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「浸水を早期に排水する対策の実施」（33.8%）が3割を超えて最も多く、次いで「氾濫を防ぐ堤防などの施設の強化」（28.1%）、「安心・安全に避難所生活が送れる様な環境づくり」（24.2%）と続いている。

(6) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「水の準備」がほぼ7割



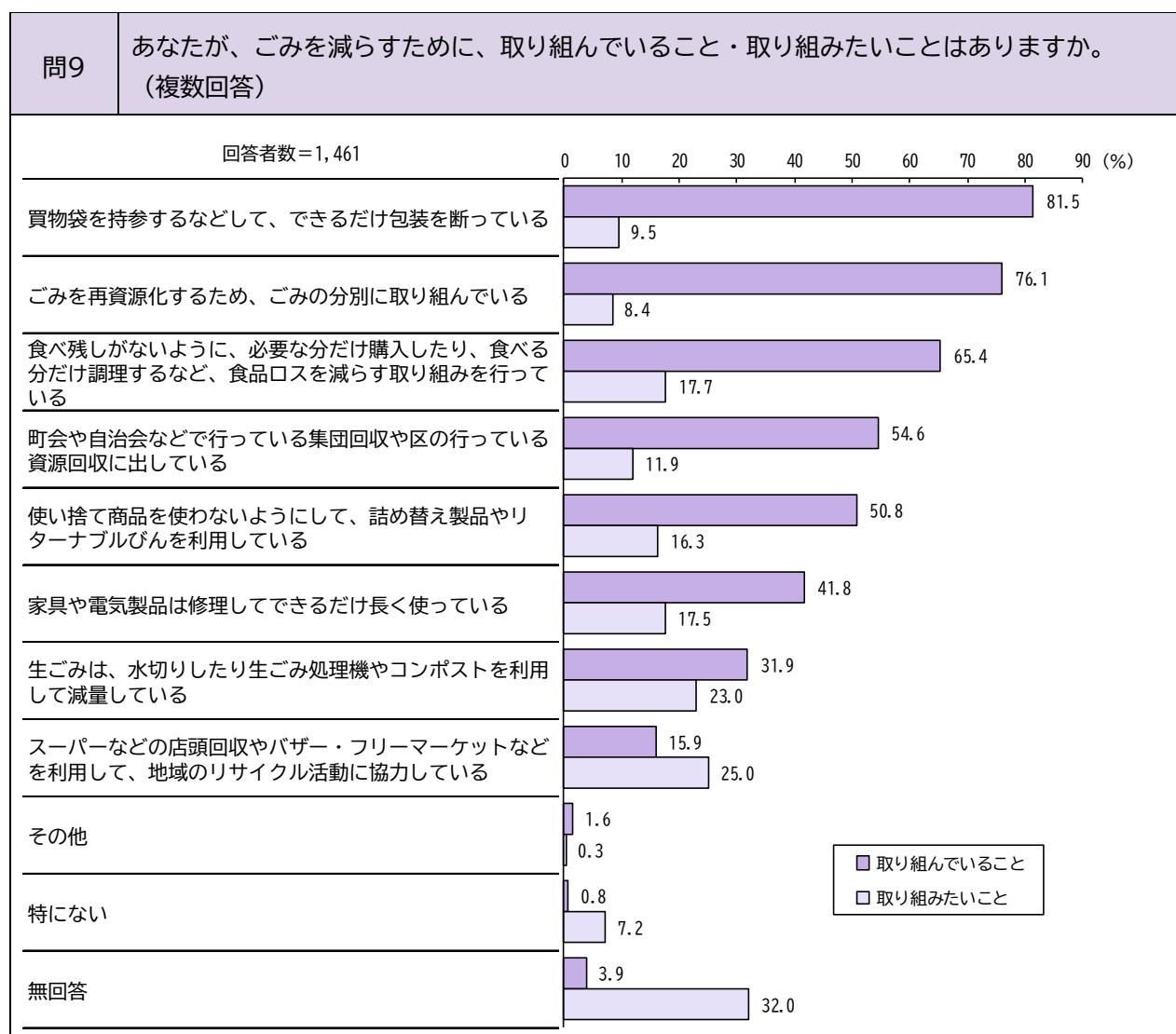
○災害に備えて家庭で準備している防災用品および用具を聞いたところ、「水の準備」（69.1%）がほぼ7割と最も多く、次いで「照明器具（懐中電灯など）」（65.3%）、「ラジオ」（58.0%）と続いている。

3 ごみ・リサイクル

(1) ごみを減らすために、取り組んでいること・取り組みたいこと

新規

- ◇取り組んでいることでは、「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が8割を超える
- ◇取り組みたいことでは、「スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している」が2割台半ば

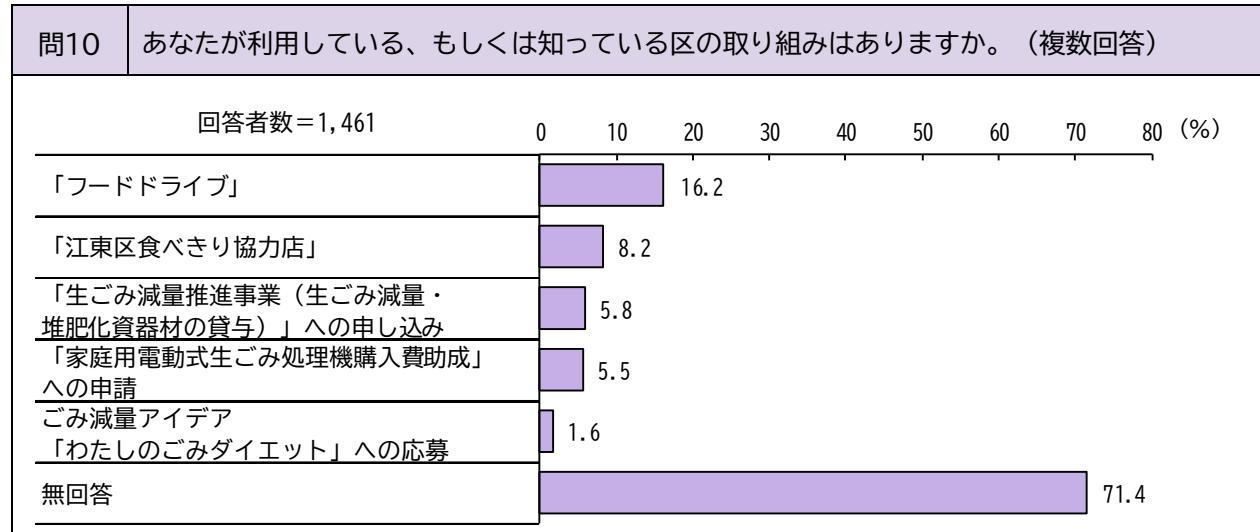


○ごみを減らすために、取り組んでいること・取り組みたいことはあるか聞いたところ、取り組んでいることでは、「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」(81.5%)が8割を超えて最も多く、次いで「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」(76.1%)、「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」(65.4%)と続いている。

一方、取り組みたいことでは、「スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している」(25.0%)が2割台半ばで最も多く、次いで「生ごみは、水切りしたり生ごみ処理機やコンポストを利用して減量している」(23.0%)、「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」(17.7%)と続いている。

(2) 利用している、もしくは知っている食品ロスを減らす取り組み

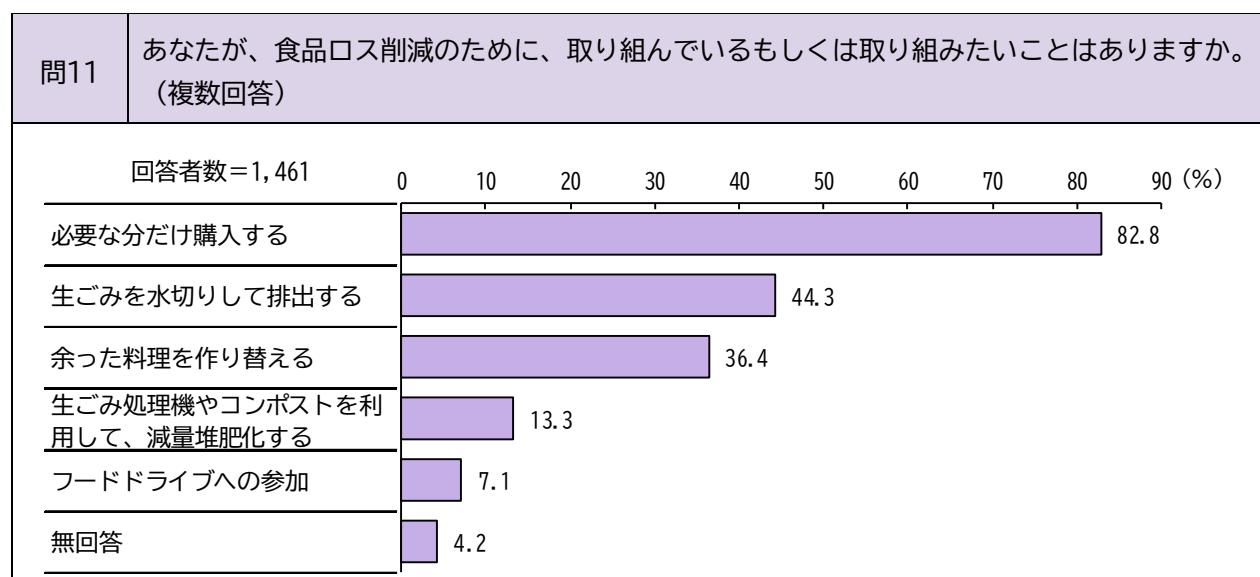
◇「フードドライブ」が1割台半ば



○利用している、もしくは知っている区の食品ロスを減らす取り組みについて聞いたところ、「フードドライブ」(16.2%)が1割台半ばで最も多く、次いで「江東区食べきり協力店」(8.2%)、「生ごみ減量推進事業（生ごみ減量・堆肥化資器材の貸与）」への申し込み(5.8%)と続いている。

(3) 食品ロス削減のために、取り組んでいるもしくは取り組みたいこと

◇「必要な分だけ購入する」が8割を超える

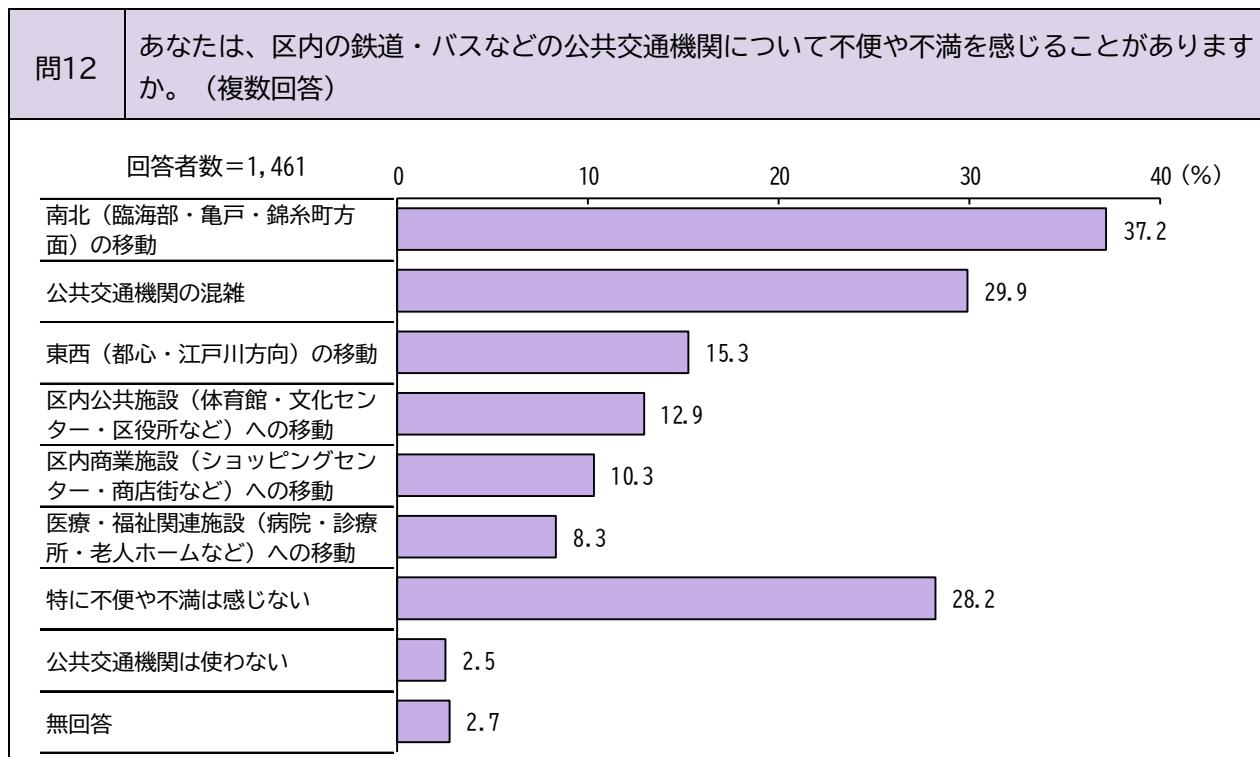


○食品ロス削減のために、取り組んでいるもしくは取り組みたいことについて聞いたところ、「必要な分だけ購入する」(82.8%)が8割を超えて最も多く、次いで「生ごみを水切りして排出する」(44.3%)、「余った料理を作り替える」(36.4%)と続いている。

4 交通・まちづくり

(1) 区内の公共交通機関で不便や不満を感じること

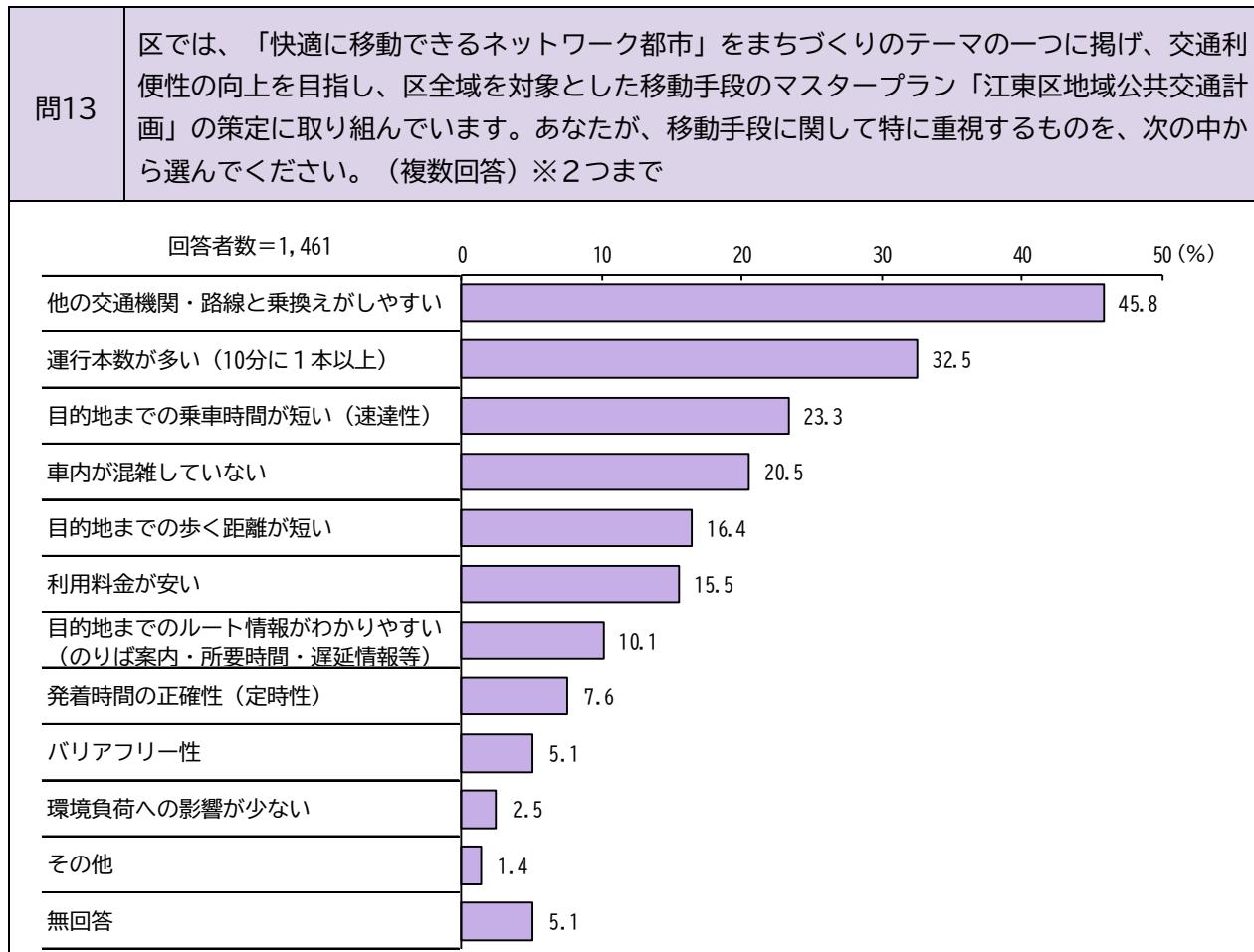
◇「南北（臨海部・亀戸・錦糸町方面）の移動」が4割近く



○区内の鉄道・バスなどの公共交通機関について不便や不満を感じることを聞いたところ、「南北（臨海部・亀戸・錦糸町方面）の移動」（37.2%）が4割近くで最も多く、次いで「公共交通機関の混雑」（29.9%）、「東西（都心・江戸川方向）の移動」（15.3%）と続いている。

(2) 移動手段で重視するもの

◇「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」が4割台半ば

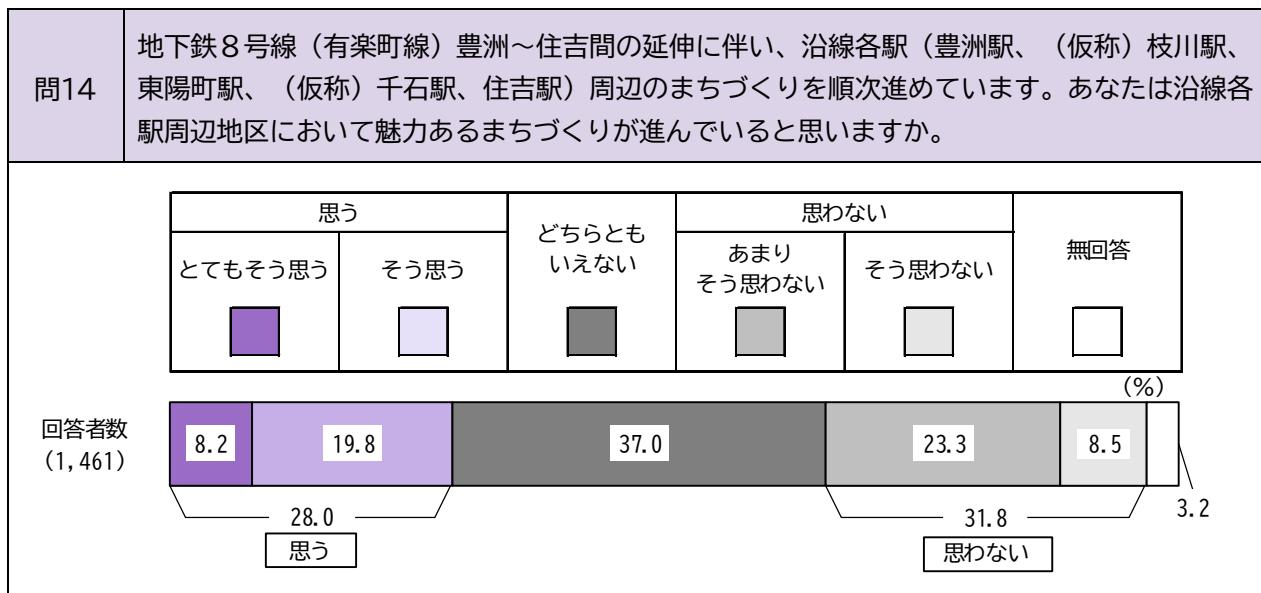


○移動手段に関して特に重視するものを聞いたところ、「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」(45.8%)が4割台半ばで最も多く、次いで「運行本数が多い（10分に1本以上）」(32.5%)、「目的地までの乗車時間が短い（速達性）」(23.3%)と続いている。

(3) 沿線各駅周辺地区の魅力あるまちづくり

新規

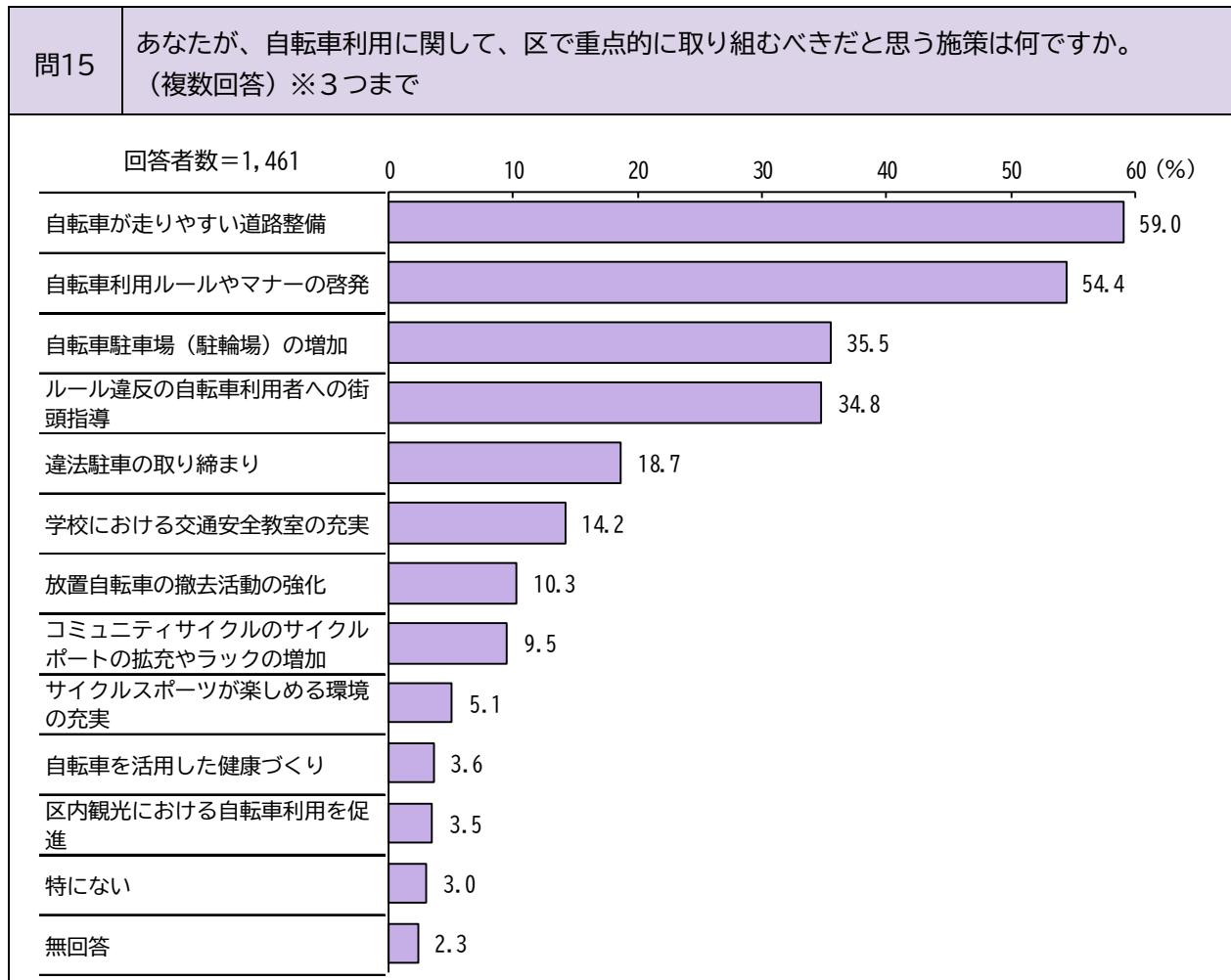
◇「思う」は3割近く



○沿線各駅周辺地区において魅力あるまちづくりが進んでいると思うか聞いたところ、「とてもそう思う」（8.2%）と「そう思う」（19.8%）の2つを合わせた「思う」（28.0%）は3割近くとなっている。

(4) 自転車利用について区が取り組むべき施策

◇「自転車が走りやすい道路整備」がほぼ6割

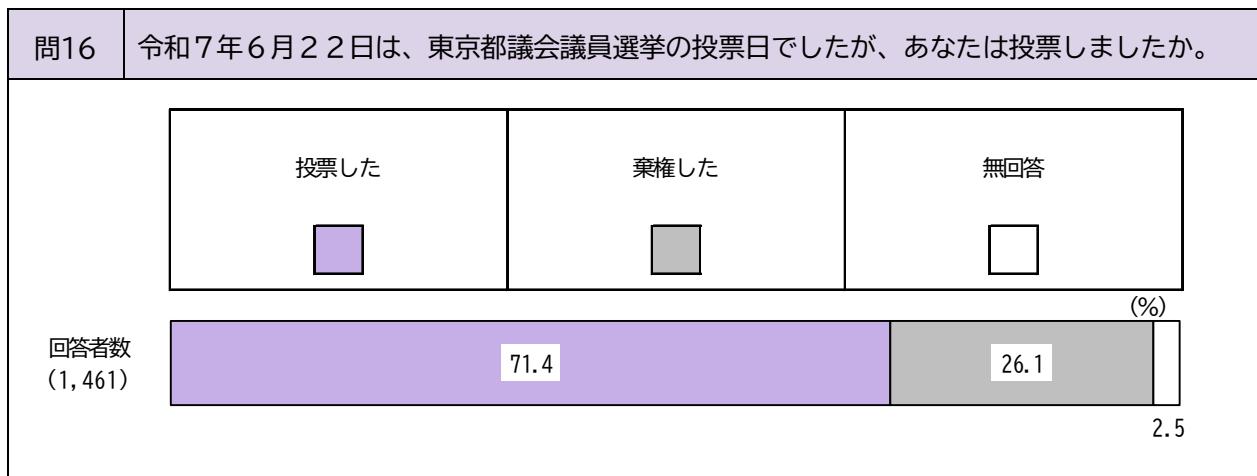


○自転車利用に関して区で重点的に取り組むべきだと思う施策について聞いたところ、「自転車が走りやすい道路整備」(59.0%) がほぼ6割で最も多く、次いで「自転車利用ルールやマナーの啓発」(54.4%)、「自転車駐車場（駐輪場）の増加」(35.5%)と続いている。

5 選挙

(1) 東京都議会議員選挙の投票の有無

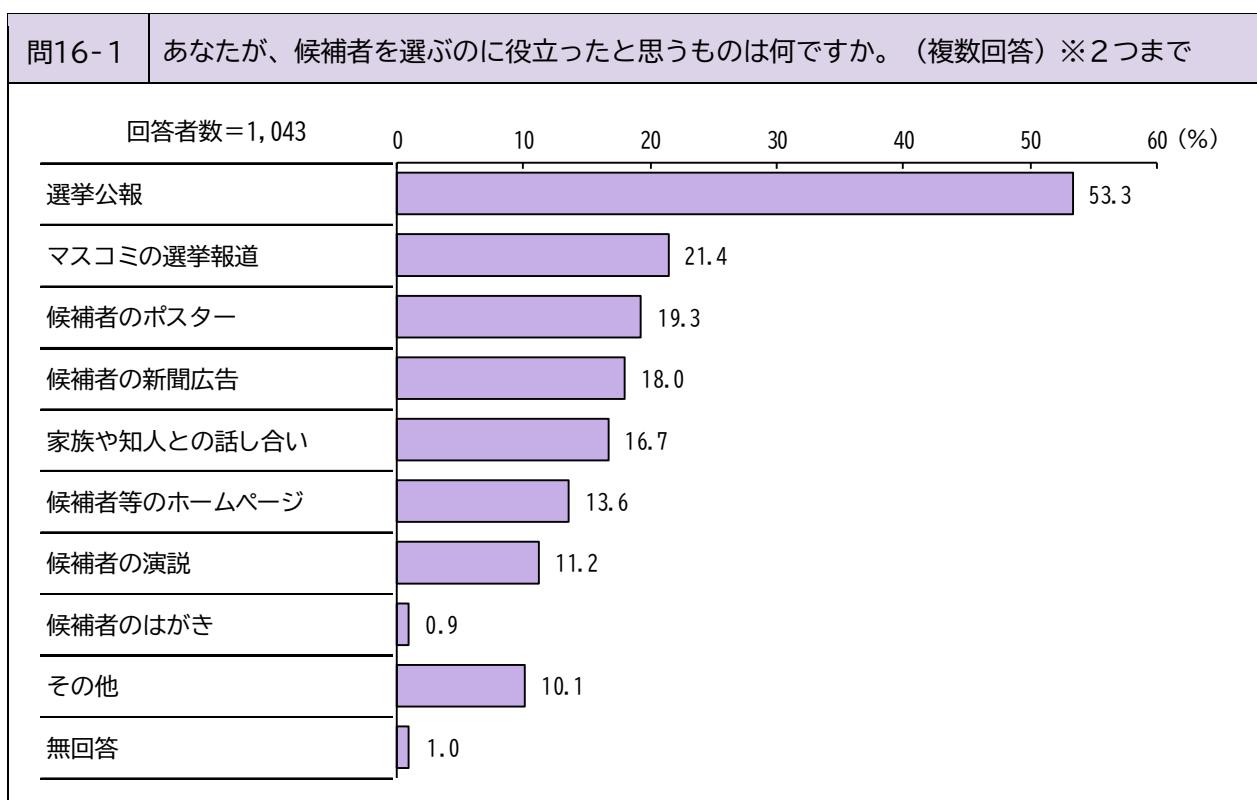
◇「投票した」が7割を超える



○令和7年6月22日の東京都議会議員選挙に投票したかを聞いたところ、「投票した」(71.4%)は7割を超えており、なお、実際の東京都議会議員選挙の投票率は49.13%であった。

(2) 候補者を選ぶのに役立ったと思うもの

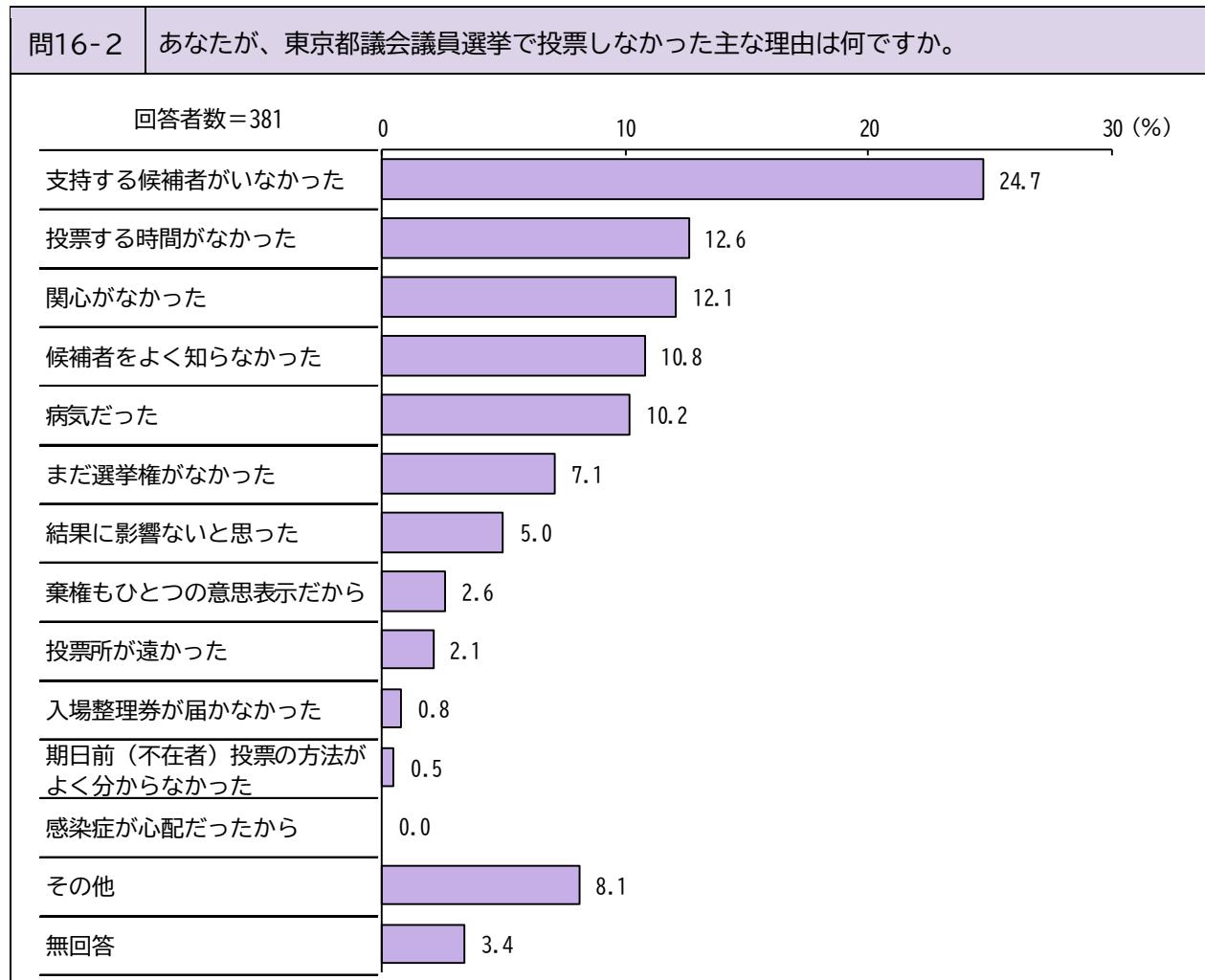
◇「選挙公報」が5割を超える



○令和7年6月の東京都議会議員選挙に「投票した」と答えた方(1,043人)に、候補者を選ぶのに役立ったと思うものは何か聞いたところ、「選挙公報」(53.3%)が5割を超えて最も多く、次いで「マスコミの選挙報道」(21.4%)、「候補者のポスター」(19.3%)と続いている。

(3) 投票しなかった理由

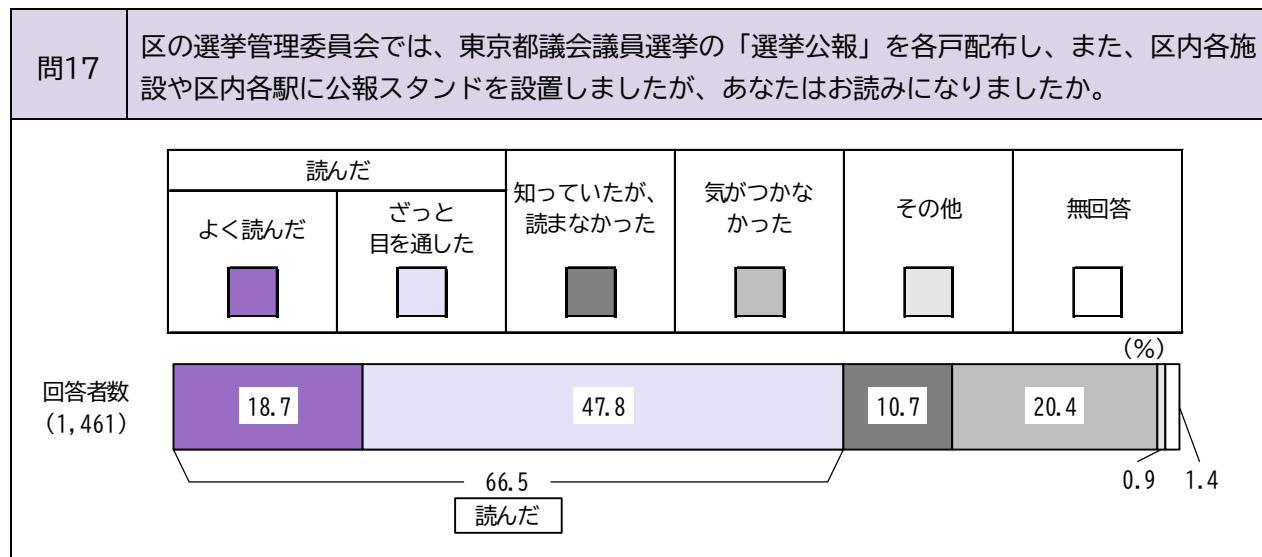
◇「支持する候補者がいなかった」が2割台半ば



○令和7年6月の東京都議会議員選挙に「投票しなかった」と答えた方（381人）に、その理由を聞いたところ、「支持する候補者がいなかった」（24.7%）が2割台半ばで最も多く、次いで「投票する時間がなかった」（12.6%）、「関心がなかった」（12.1%）と続いている。

(4) 「選挙公報」の閲読状況

◇「読んだ」は7割近く

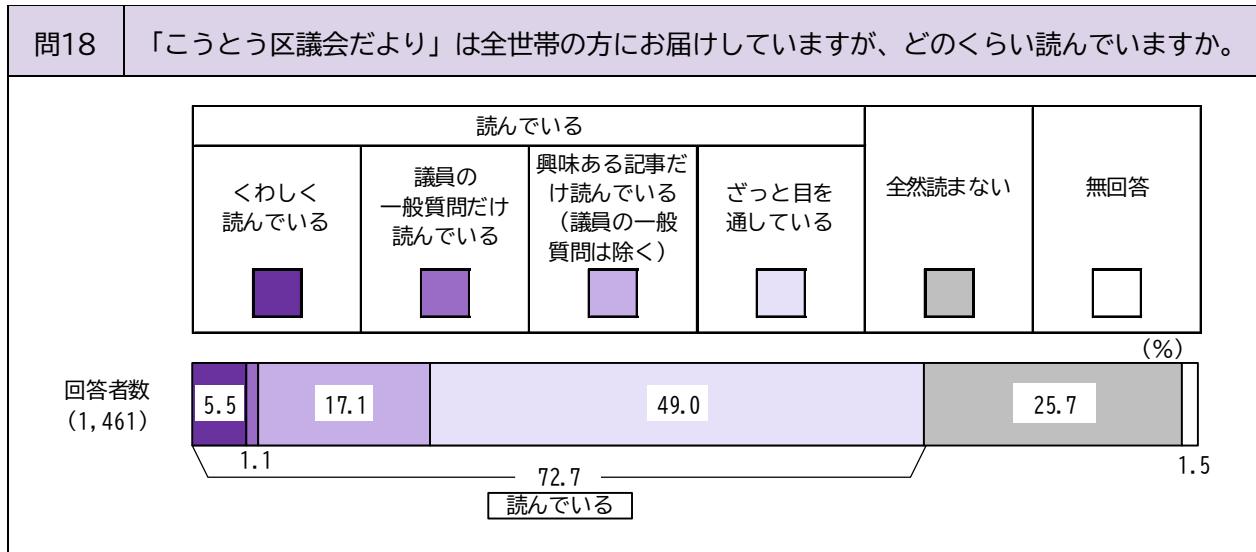


○東京都議会議員選挙の「選挙公報」を読んだか聞いたところ、「よく読んだ」（18.7%）と「ざっと目を通した」（47.8%）の2つを合わせた「読んだ」（66.5%）は7割近くとなっている。一方、「知っていたが、読まなかつた」（10.7%）はほぼ1割、「気がつかなかつた」（20.4%）は2割となっている。

6 区議会

(1) 「こうとう区議会だより」の閲読状況

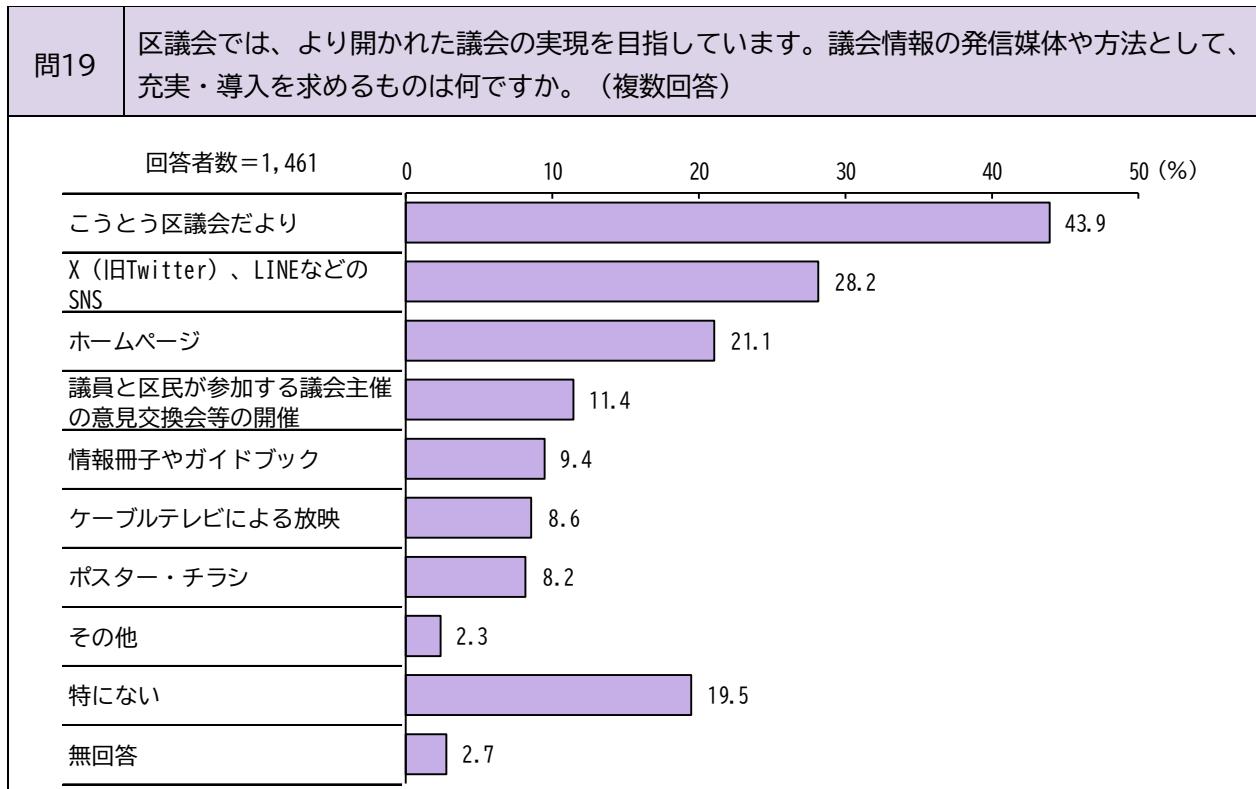
◇「『こうとう区議会だより』は7割を超える



○「こうとう区議会だより」をどのくらい読んでいるか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(5.5%)、「議員の一般質問だけ読んでいる」(1.1%)、「興味ある記事だけ読んでいる(議員の一般質問は除く)」(17.1%)、「ざっと目を通している」(49.0%)の4つを合わせた「『こうとう区議会だより』をどのくらい読んでいるか」(72.7%)が7割を超えていた。

(2) 充実・導入してほしい議会情報の発信媒体

◇「こうとう区議会だより」が4割を超える

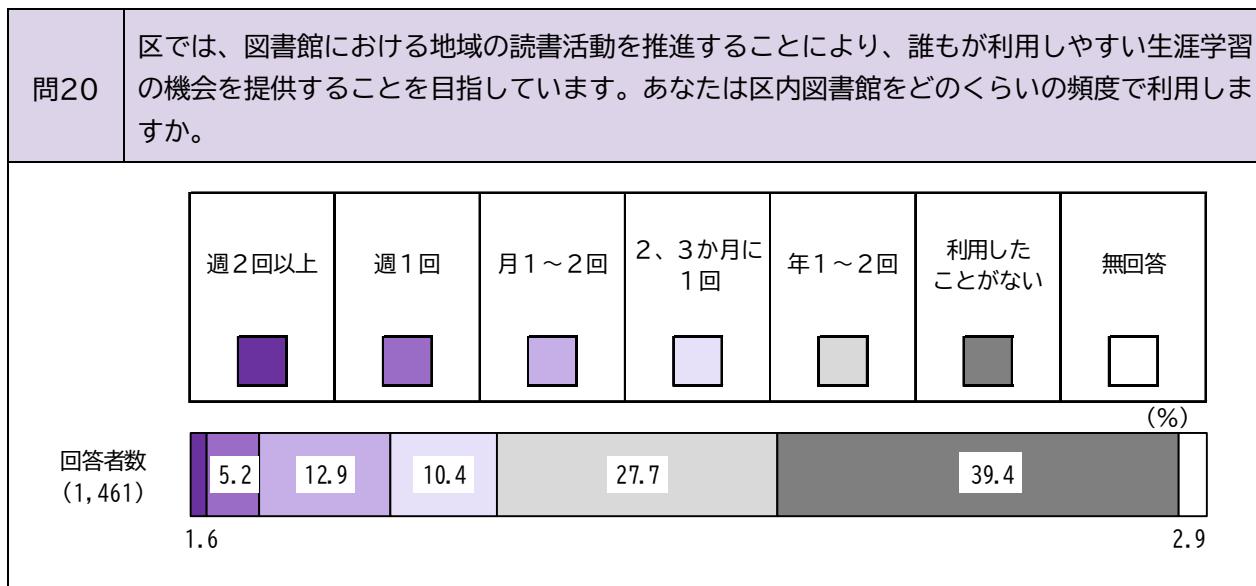


○充実・導入してほしい議会情報の発信媒体を聞いたところ、「こうとう区議会だより」(43.9%)が4割を超えて最も多く、次いで「X (旧 Twitter)、LINEなどのSNS」(28.2%)、「ホームページ」(21.1%)と続いている。

7 図書館

(1) 区内図書館の利用頻度

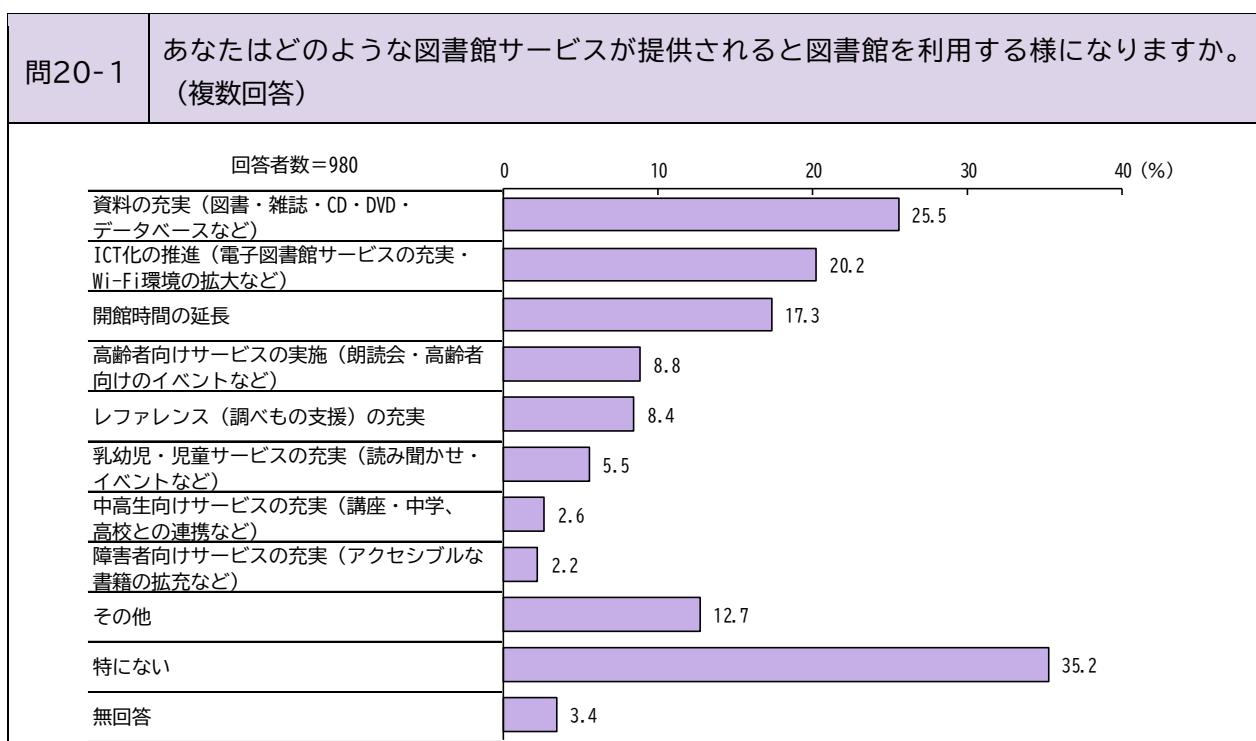
◇ 「年1～2回」が3割近く



○区内図書館の利用頻度を聞いたところ、「年1～2回」（27.7%）が3割近くとなっている。一方、「利用したことがない」（39.4%）はほぼ4割となっている。

(2) 図書館サービスへの要望

◇ 「資料の充実（図書・雑誌・CD・DVD・データベースなど）」が2割台半ば

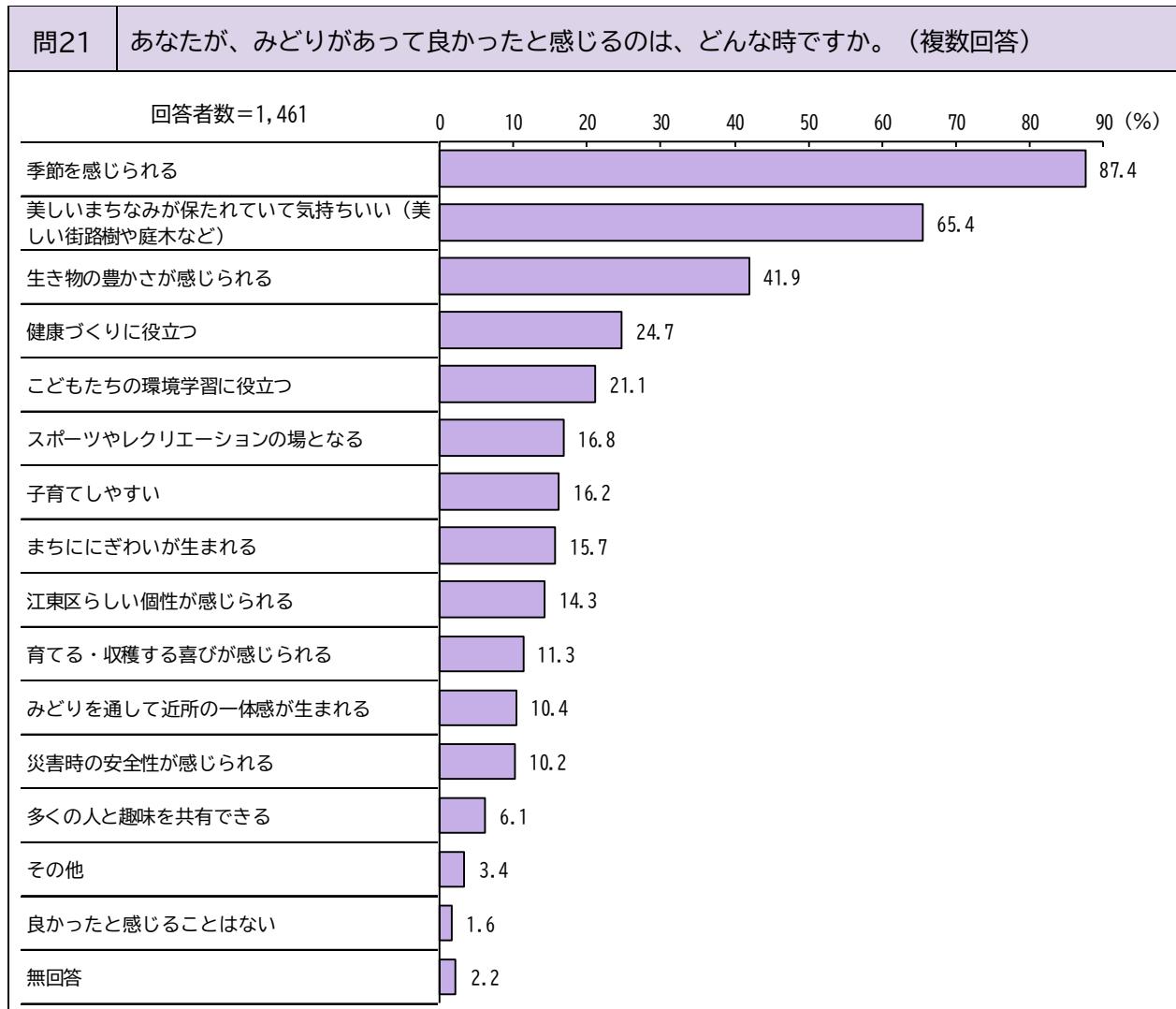


○区内図書館の利用頻度を、「年1～2回」か「利用したことない」と答えた方（980人）に、どのようなサービスが提供されると図書館を利用するか聞いたところ、「資料の充実（図書・雑誌・CD・DVD・データベースなど）」（25.5%）が2割台半ばで最も多く、次いで「ICT化の推進（電子図書館サービスの充実・Wi-Fi環境の拡大など）」（20.2%）、「開館時間の延長」（17.3%）と続いている。

8 環境・緑化

(1) どんな時に、みどりがあって良かったと感じるか

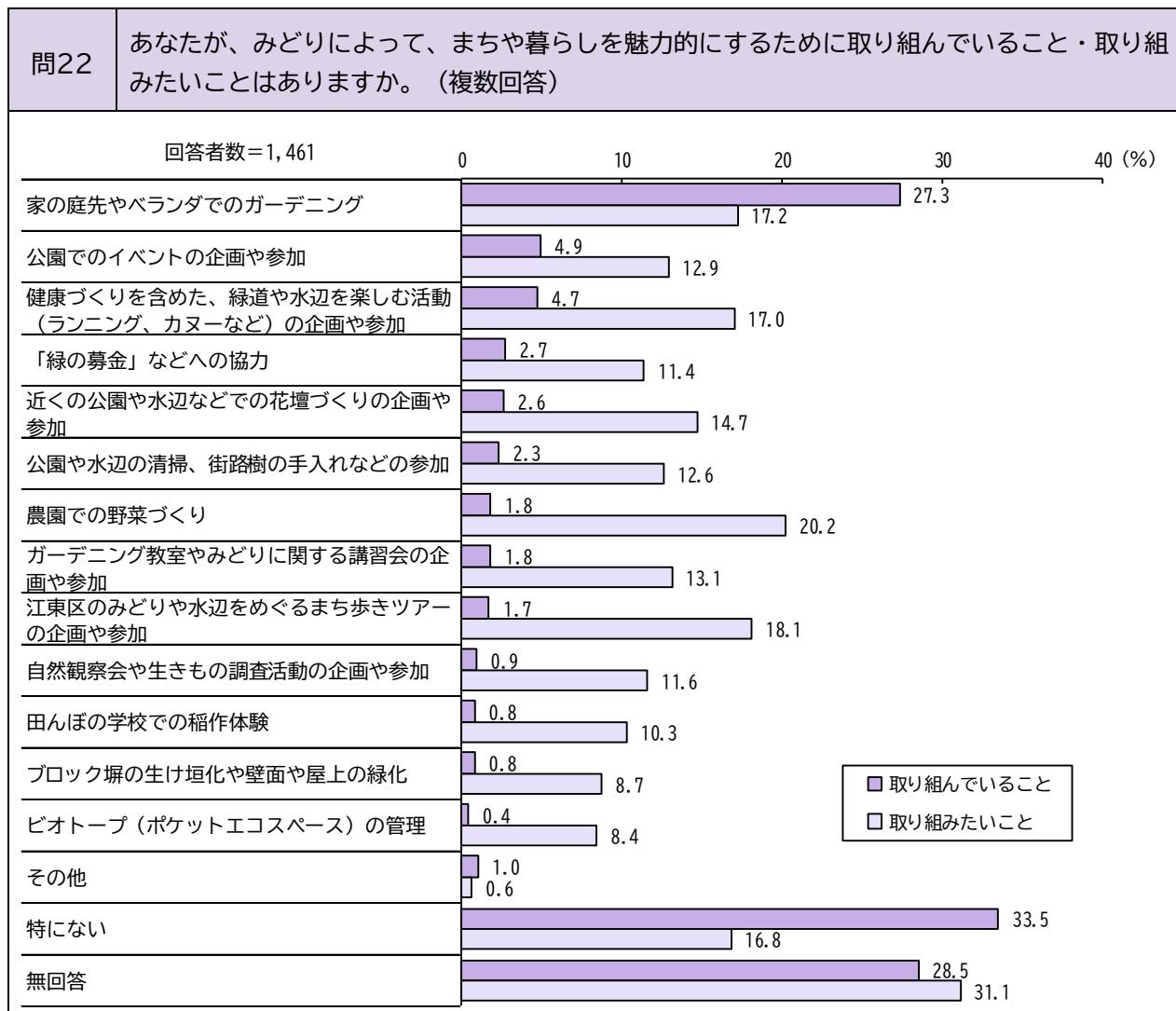
◇「季節を感じられる」が9割近く



○みどりがあって良かったと感じるのは、どんな時か聞いたところ、「季節を感じられる」(87.4%)が9割近くで最も多く、次いで「美しいまちなみが保たれていて気持ちいい（美しい街路樹や庭木など）」(65.4%)、「生き物の豊かさが感じられる」(41.9%)と続いている。

(2) 取り組んでいる、または今後取り組みたいと思うみどりに関する事業

- ◇取り組んでいることでは、「家の庭先やベランダでのガーデニング」が3割近く
 ◇取り組みたいことでは、「農園での野菜づくり」が2割

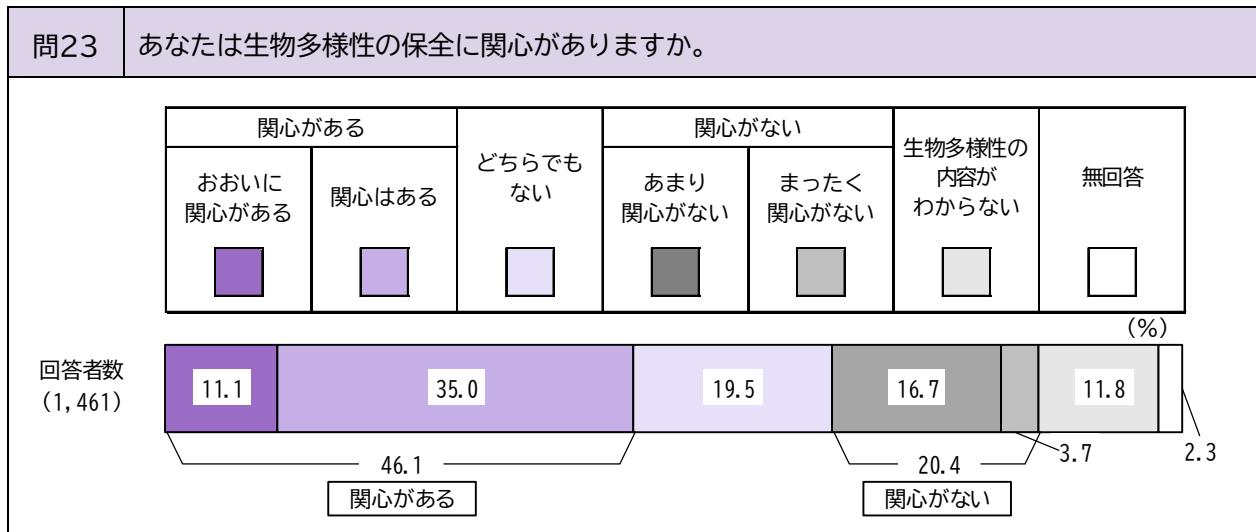


○みどりによって、まちや暮らしを魅力的にするために取り組んでいること・取り組みたいことはあるか聞いたところ、取り組んでいることでは、「家の庭先やベランダでのガーデニング」（27.3%）が3割近くで最も多く、次いで「公園でのイベントの企画や参加」（4.9%）、「健康づくりを含めた、緑道や水辺を楽しむ活動（ランニング、カヌーなど）の企画や参加」（4.7%）と続いている。一方、取り組みたいことでは、「農園での野菜づくり」（20.2%）が2割で最も多く、次いで「江東区のみどりや水辺をめぐるまち歩きツアーの企画や参加」（18.1%）、「家の庭先やベランダでのガーデニング」（17.2%）と続いている。

(3) 生物多様性の保全への関心

新規

◇「関心がある」は4割台半ば

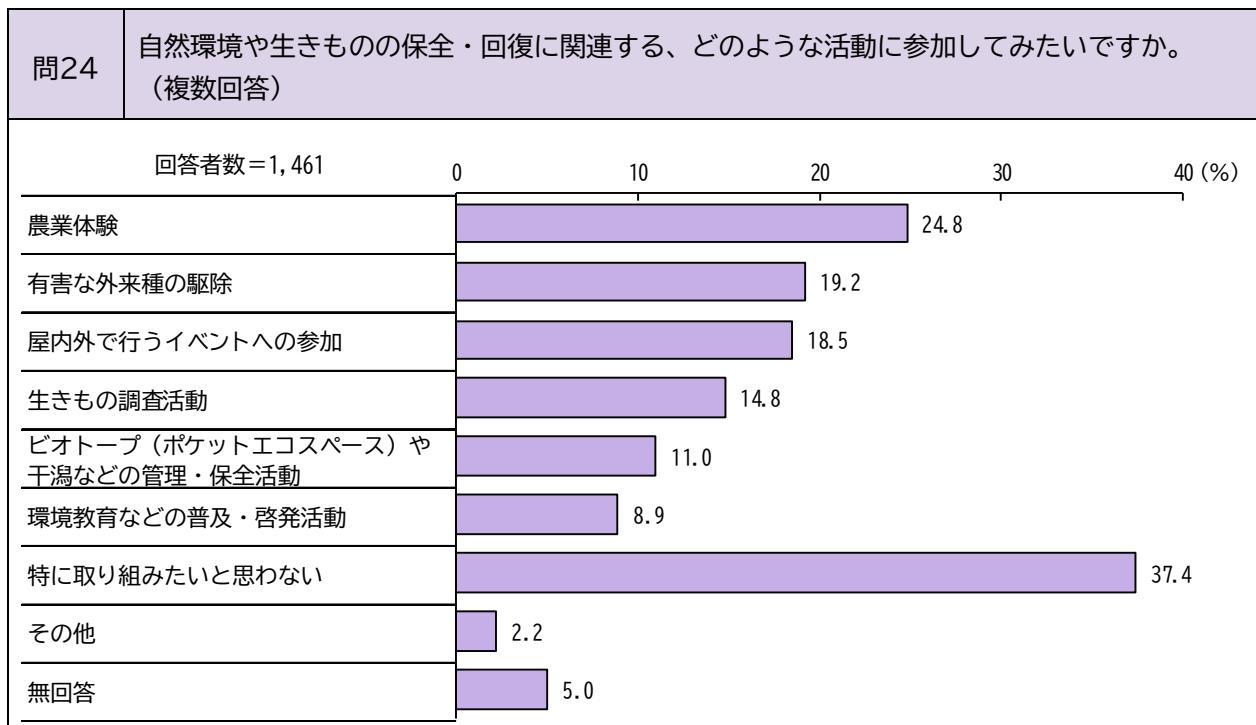


○生物多様性の保全に関する関心があるか聞いたところ、「おおいに関心がある」(11.1%)と「関心はある」(35.0%)を合わせた「関心がある」(46.1%)が4割台半ばとなっている。

(4) 参加したい自然環境や生きものの保全・回復に関連する活動

新規

◇「農業体験」が2割台半ば

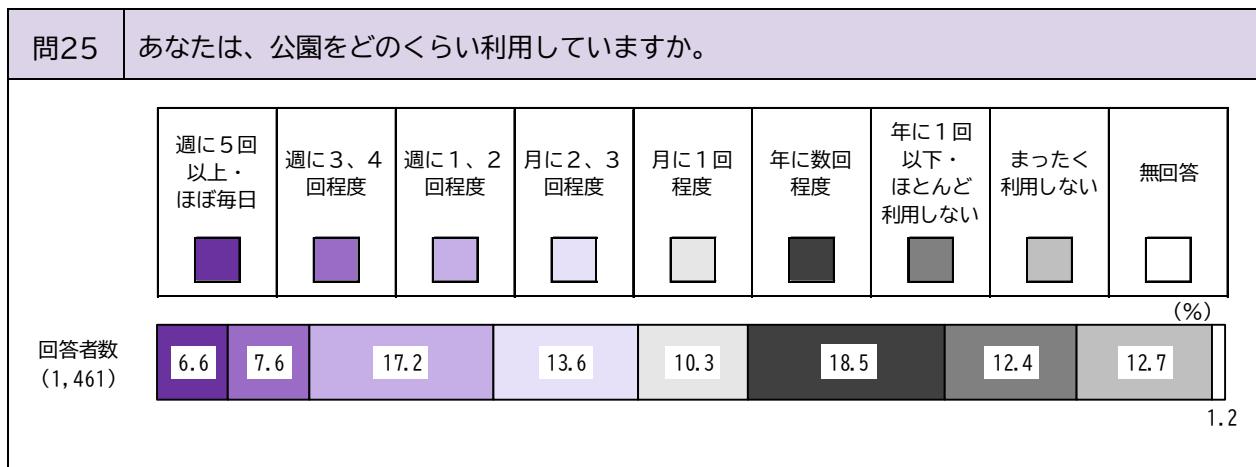


○自然環境や生きものの保全・回復に関連する、どのような活動に参加してみたいか聞いたところ、「農業体験」(24.8%)が2割台半ばで最も多く、次いで「有害な外来種の駆除」(19.2%)、「屋内外で行うイベントへの参加」(18.5%)と続いている。

9 公園

(1) 公園の利用頻度

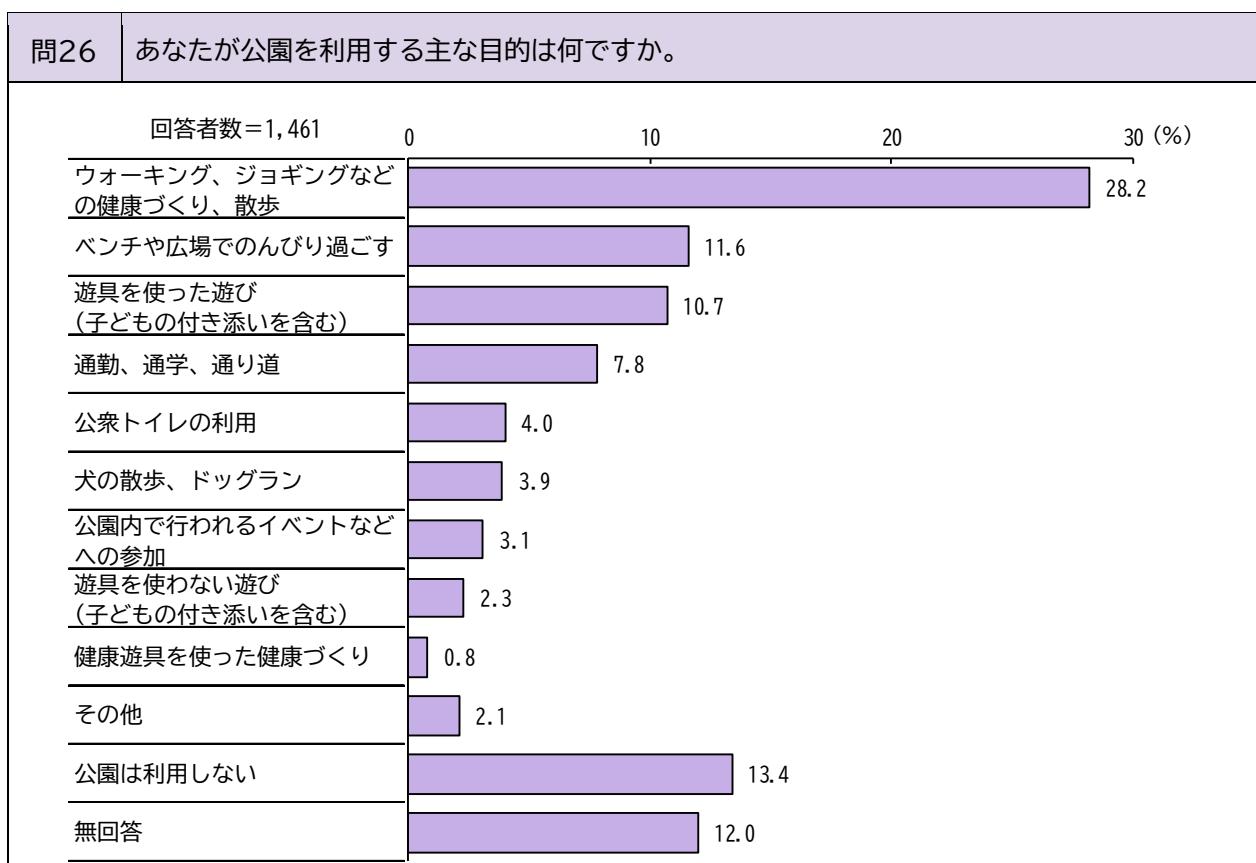
◇ 「年に数回程度」が2割近く



○公園の利用頻度を聞いたところ、「年に数回程度」（18.5%）が2割近くで最も多くなっている。
「週に5回以上・ほぼ毎日」～「週に1、2回程度」を合わせると3割を超えている。

(2) 公園を利用する主な目的

◇ 「ウォーキング、ジョギングなどの健康づくり、散歩」が3割近く

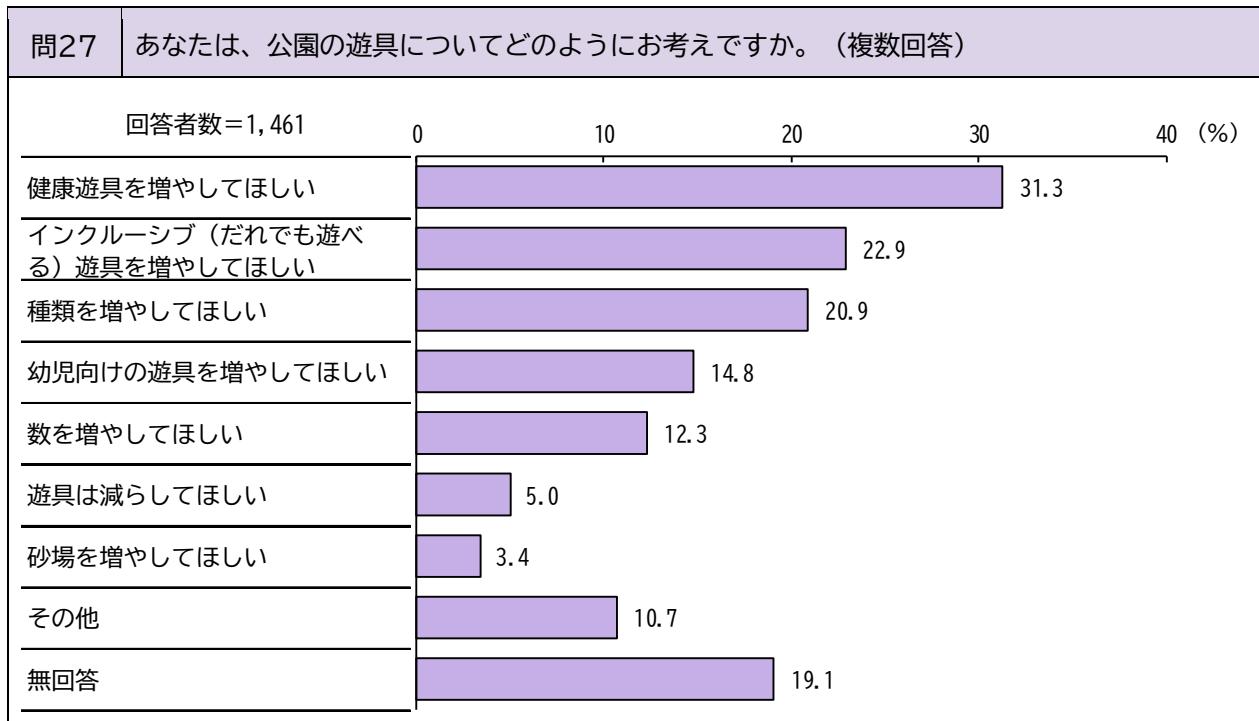


○公園を利用する主な目的を聞いたところ、「ウォーキング、ジョギングなどの健康づくり、散歩」（28.2%）が3割近くで最も多く、次いで「ベンチや広場でのんびり過ごす」（11.6%）、「遊具を使った遊び(子どもの付き添いを含む)」（10.7%）と続いている。

9 公園

(3) 公園の遊具についての考え方

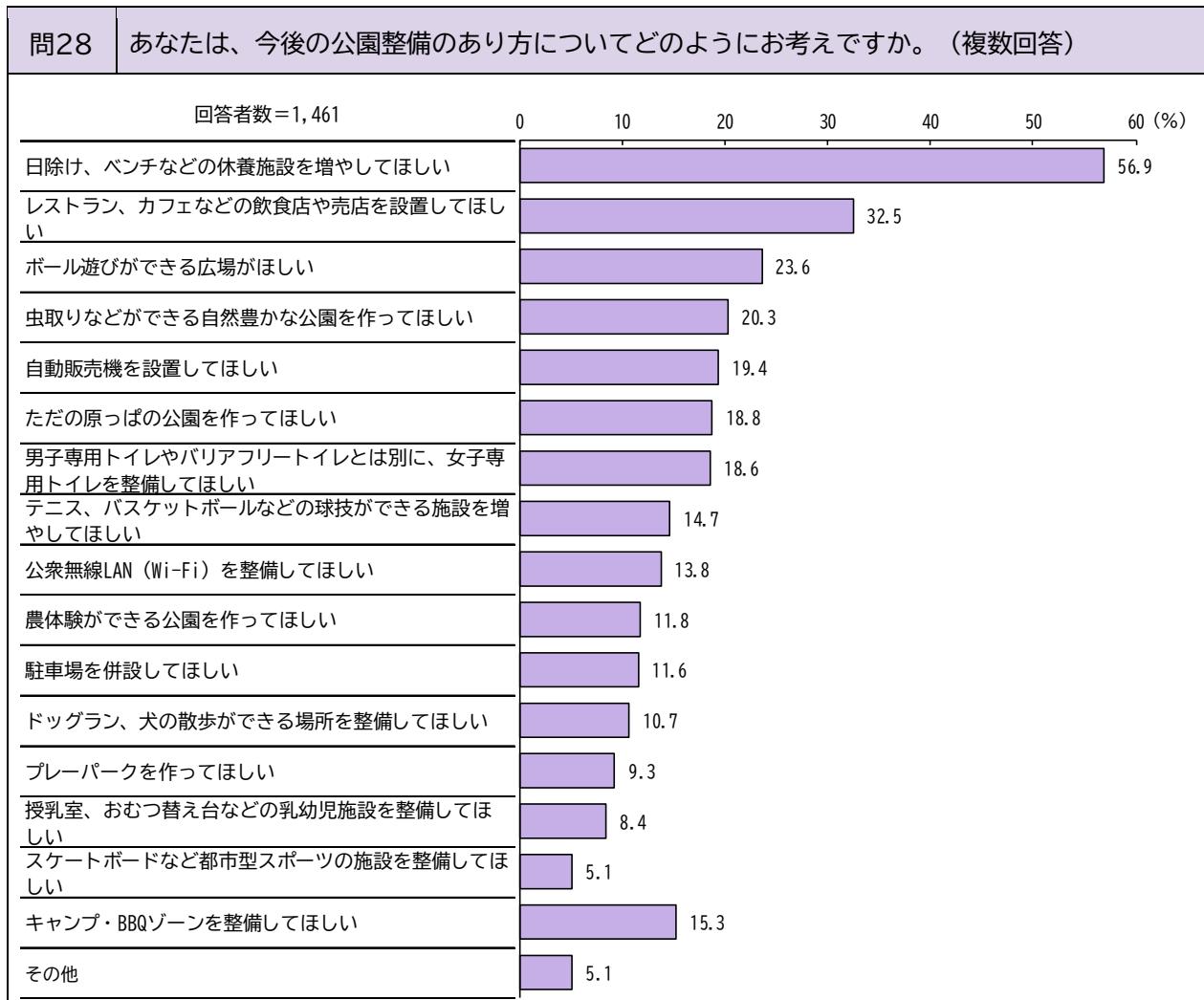
◇ 「健康遊具を増やしてほしい」が3割を超える



○公園の遊具について聞いたところ、「健康遊具を増やしてほしい」（31.3%）が3割を超えて最も多く、次いで「インクルーシブ（だれでも遊べる）遊具を増やしてほしい」（22.9%）、「種類を増やしてほしい」（20.9%）と続いている。

(4) 公園整備のあり方についての考え方

◇ 「日除け、ベンチなどの休養施設を増やしてほしい」が6割近く



○今後の公園整備のあり方について聞いたところ、「日除け、ベンチなどの休養施設を増やしてほしい」（56.9%）が6割近くで最も多く、次いで「レストラン、カフェなどの飲食店や売店を設置してほしい」（32.5%）、「ボール遊びができる広場がほしい」（23.6%）、「虫取りなどができる自然豊かな公園を作つてほしい」（20.3%）と続いている。

10 こども

(1) 「子どもの権利」の認知度

新規

◇「『子どもの権利』は3割台半ば

10
こども

問29

「子どもの権利」とは、子どもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生きること、子どもの最善の利益を考えること、自由に意見を言ったり活動できることなどが含まれます。あなたは、「子どもの権利」について知っていますか。



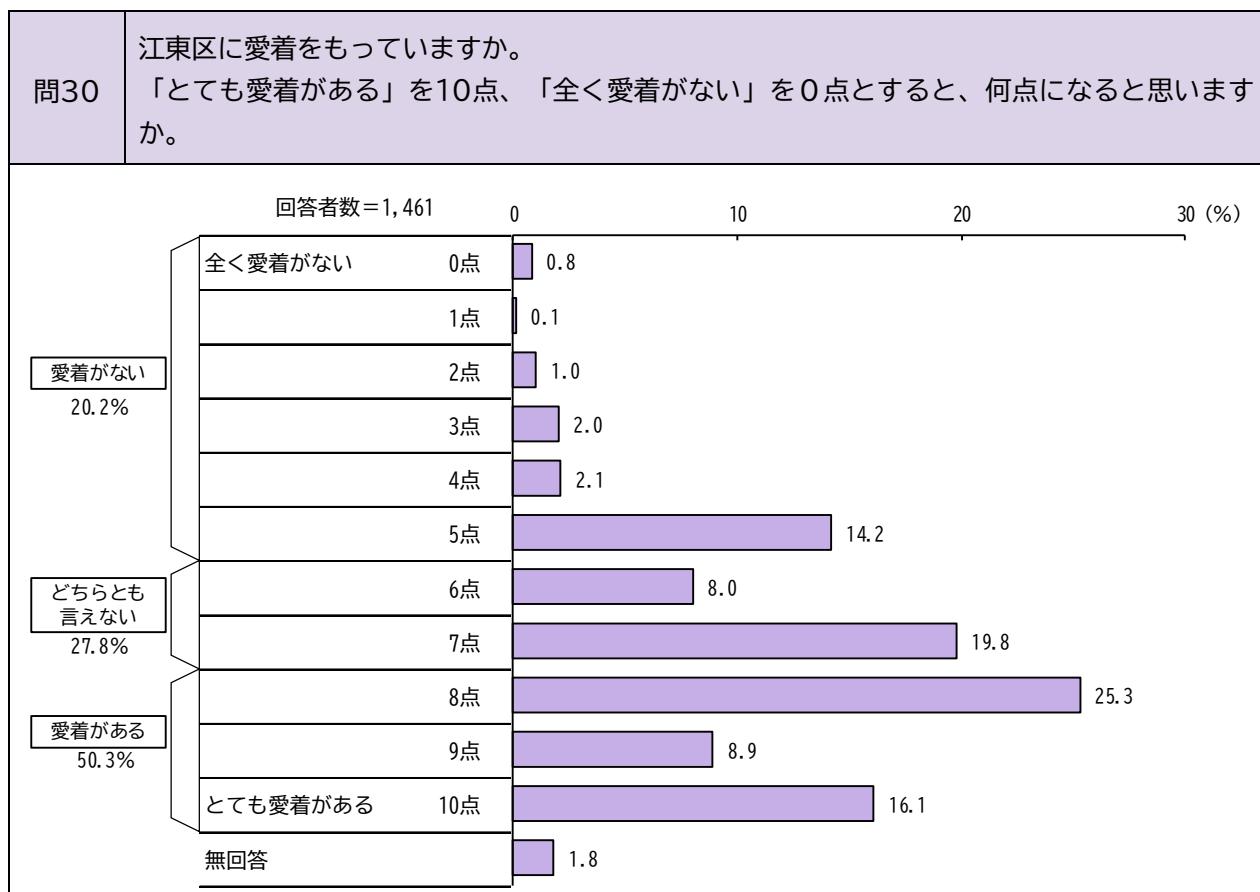
- 「子どもの権利」について知っているか聞いたところ、「よく知っている」（6.0%）と「ある程度知っている」（28.5%）の2つを合わせた「知っている」（34.5%）が3割台半ばとなっている。

11 シティプロモーション

(1) 江東区への愛着度

新規

◇「愛着がある」は5割

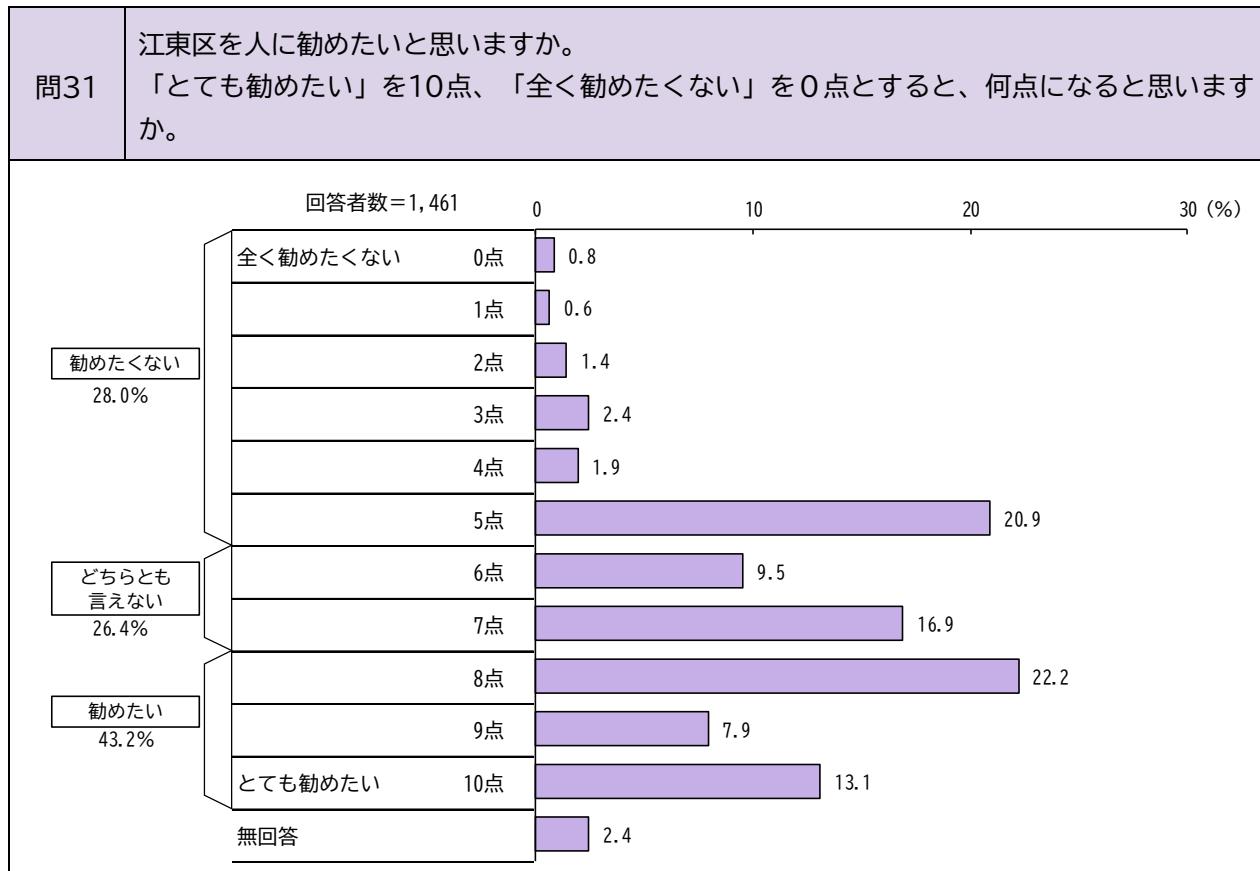


○江東区に愛着をもっているか聞いたところ、「8点」～「10点」の「愛着がある」(50.3%)が5割となっている。

(2) 江東区を人に勧めたいか

新規

◇「勧めたい」は4割を超える

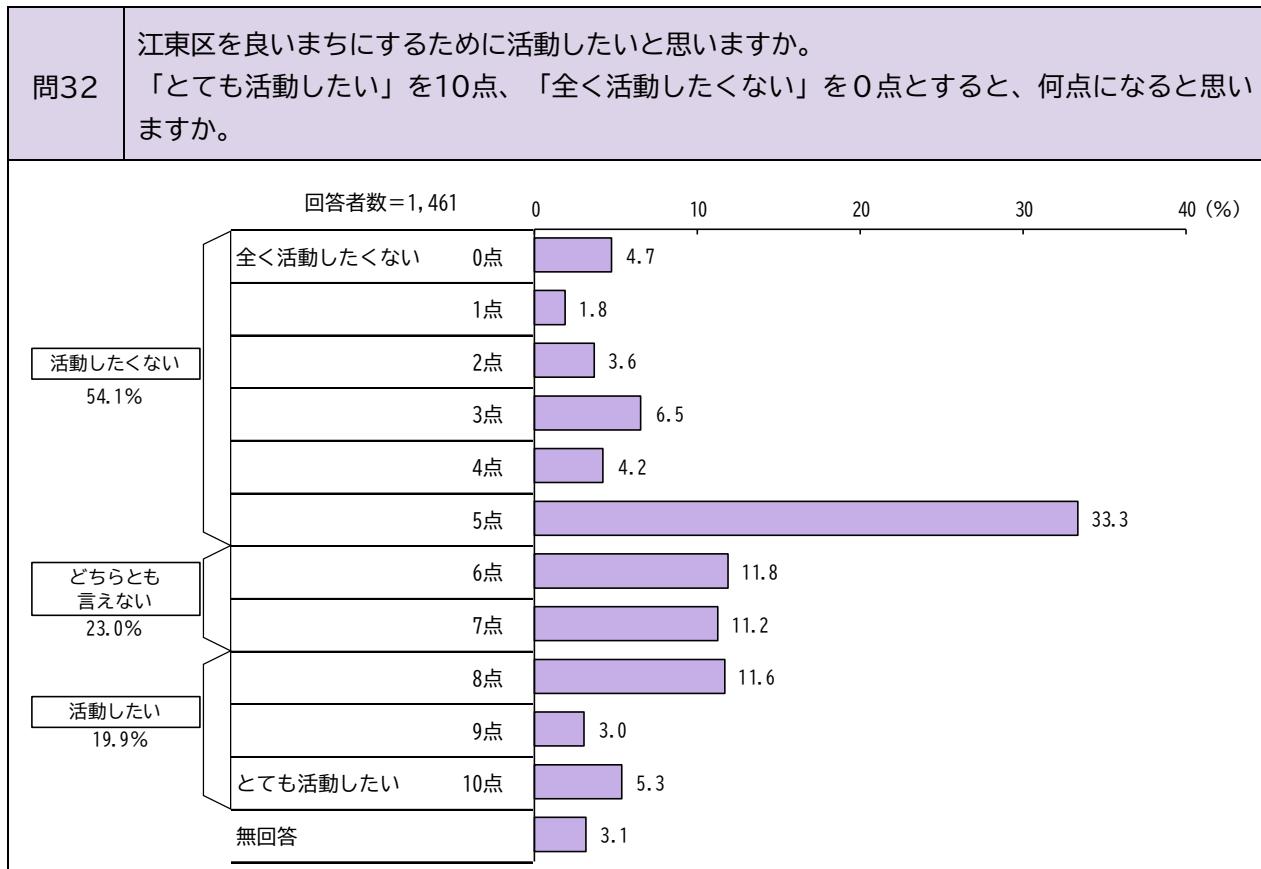


○江東区を人に勧めたいと思うか聞いたところ、「8点」～「10点」の「勧めたい」(43.2%) が4割を超えていた。

(3) 江東区を良いまちにするために活動したいと思うか

新規

◇「活動したい」は2割

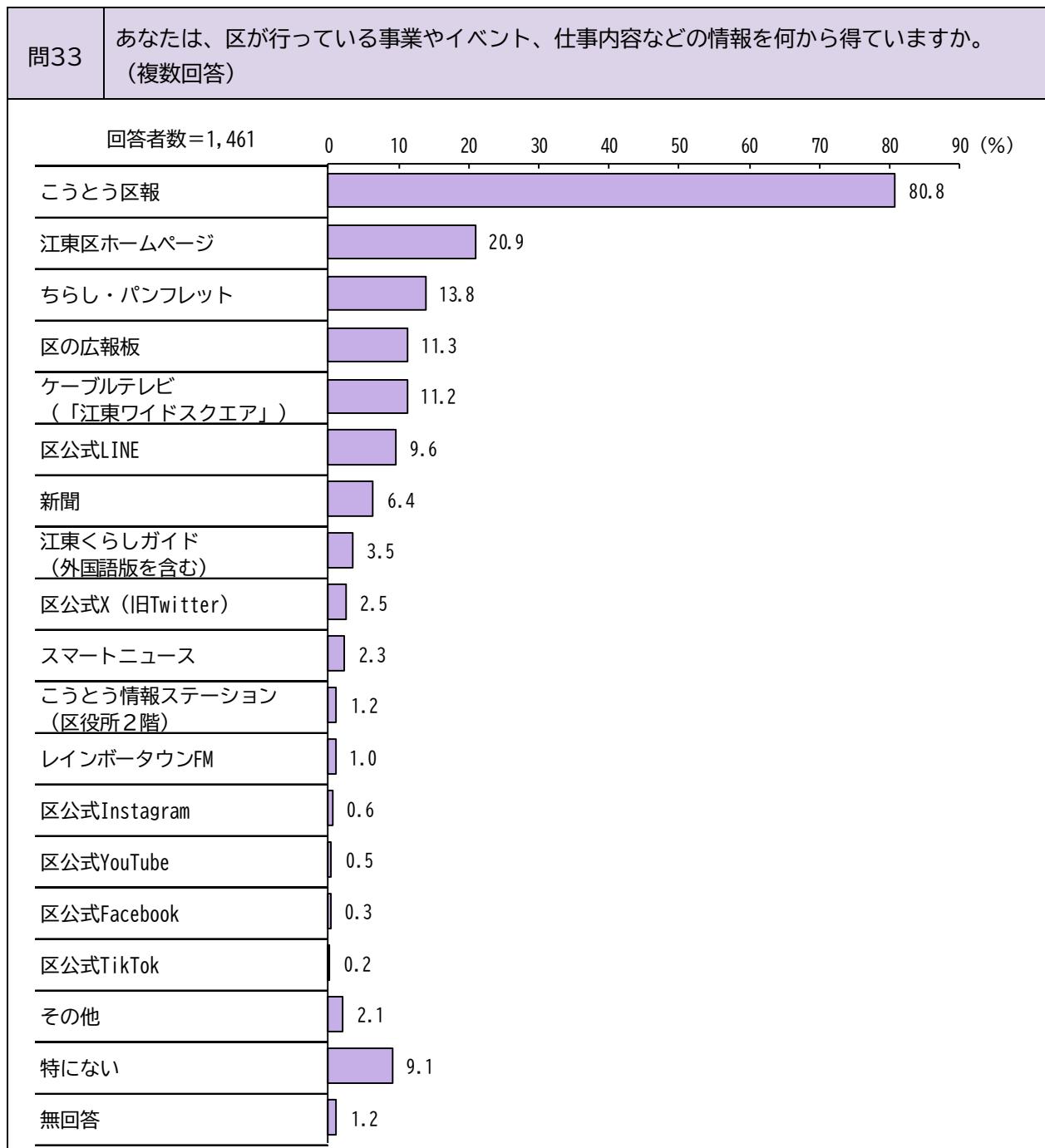


○江東区を良いまちにするために活動したいか聞いたところ、「8点」～「10点」の「活動したい」(19.9%)が2割となっている。

12 広報

(1) 区が行っている事業やイベント、仕事内容などの認知媒体

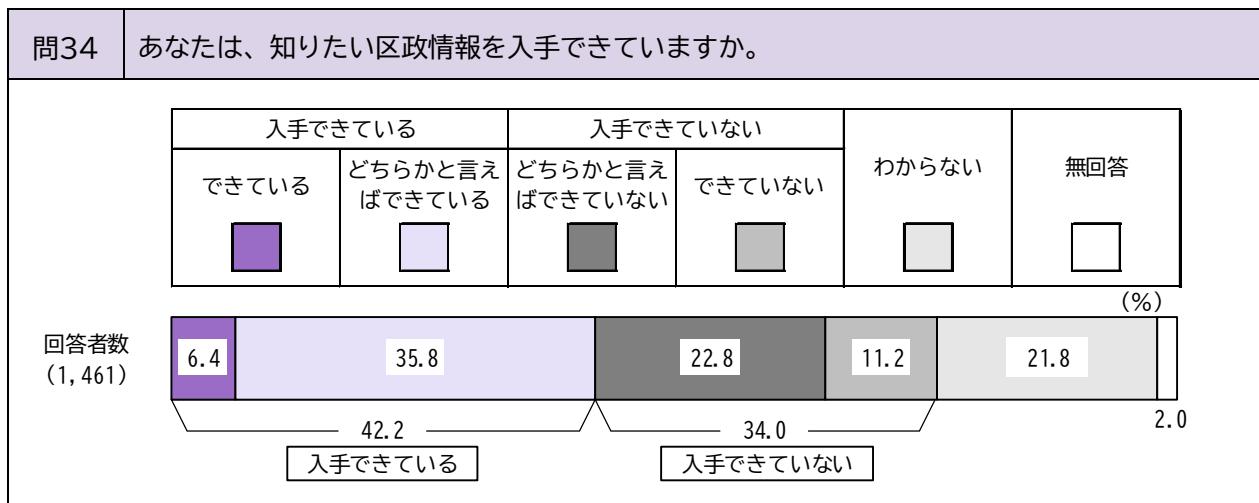
◇「こうとう区報」がほぼ8割



○区が行っている事業やイベント、仕事内容などの情報を何から得ているか聞いたところ、「こうとう区報」（80.8%）がほぼ8割で最も多く、次いで「江東区ホームページ」（20.9%）、「ちらし・パンフレット」（13.8%）と続いている。

(2) 区政情報の入手状況

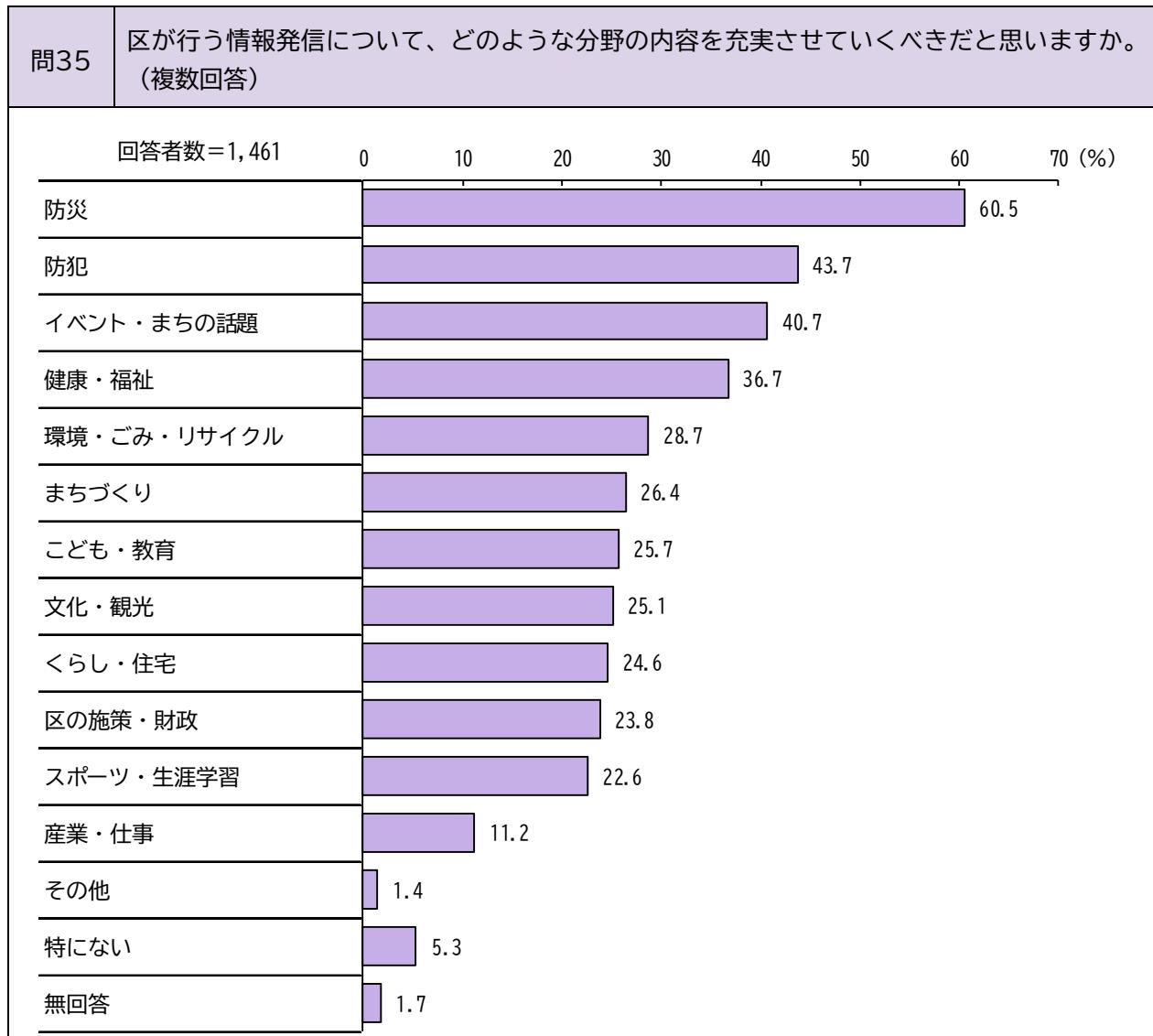
◇「入手できている」は4割を超える



- 知りたい区政情報を入手できているか聞いたところ、「できている」(6.4%)と「どちらかと言えばできている」(35.8%)の2つを合わせた「入手できている」(42.2%)は4割を超える。一方、「どちらかと言えばできていない」(22.8%)、「できていない」(11.2%)を合わせた「入手できていない」(34.0%)は3割台半ばとなっている。

(3) 充実させるべき区の情報発信の分野

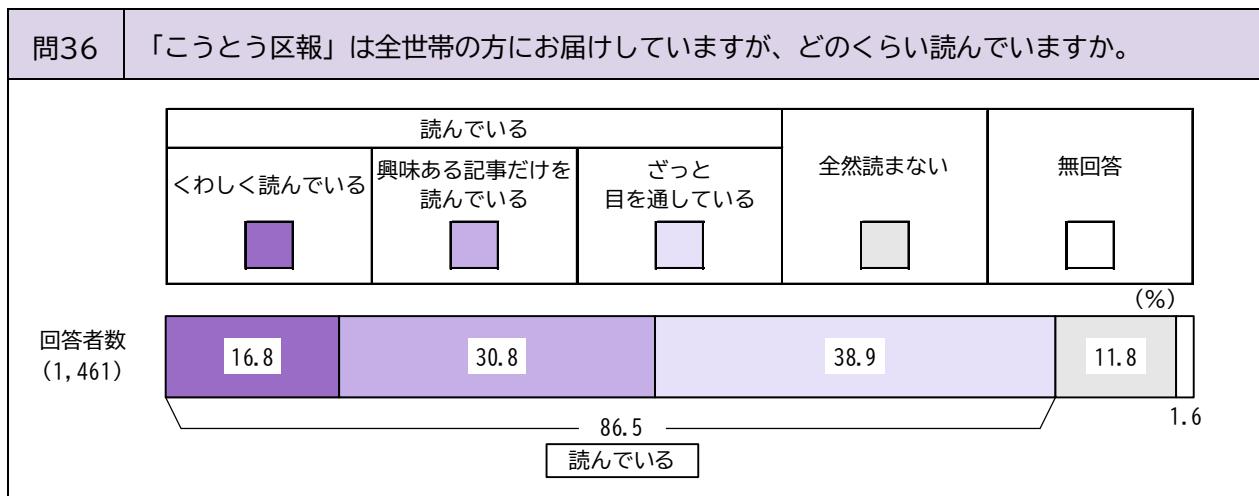
◇「防災」がほぼ6割



○区が行う情報発信について内容を充実させていくべき分野を聞いたところ、「防災」(60.5%) がほぼ6割で最も多く、次いで「防犯」(43.7%)、「イベント・まちの話題」(40.7%)と続いている。

(4) 「こうとう区報」の閲読状況

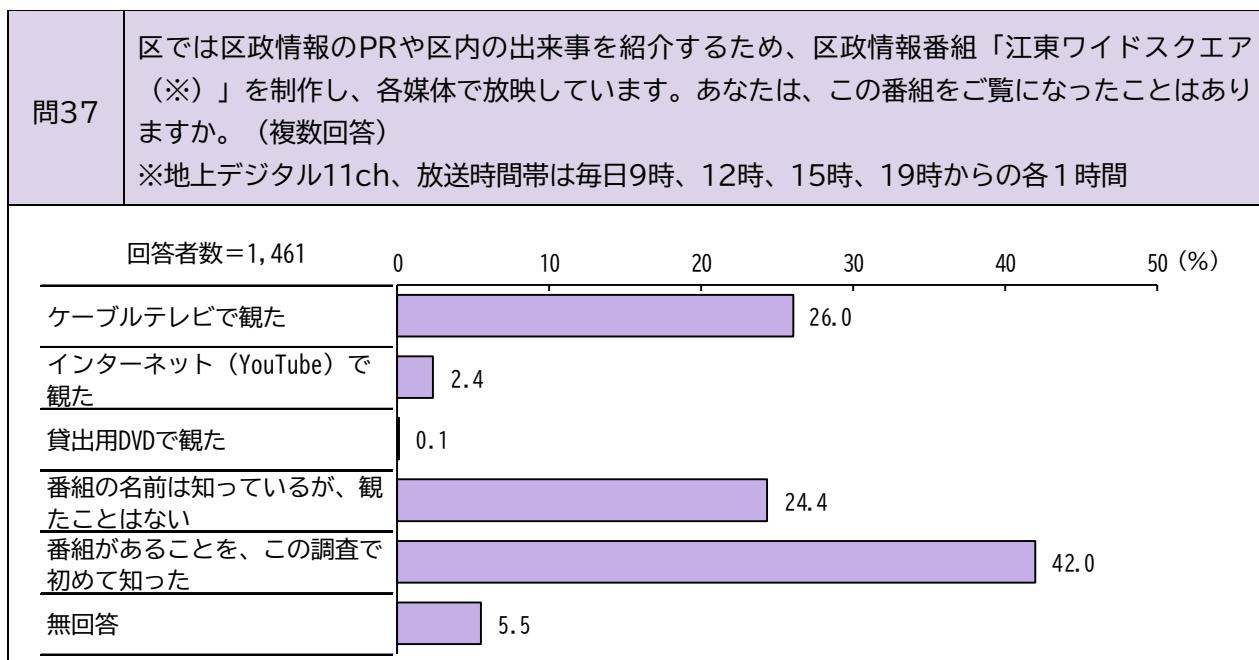
◇「こうとう区報」は全世帯の方にお届けしていますが、どのくらい読んでいますか。



- 「こうとう区報」をどのくらい読んでいるか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(16.8%)、「興味ある記事だけを読んでいる」(30.8%)、「ざっと目を通している」(38.9%)の3つを合わせた「読んでいる」(86.5%)が9割近くとなっている。

(5) 「江東ワイドスクエア」の視聴状況

◇「ケーブルテレビで観た」が2割台半ば

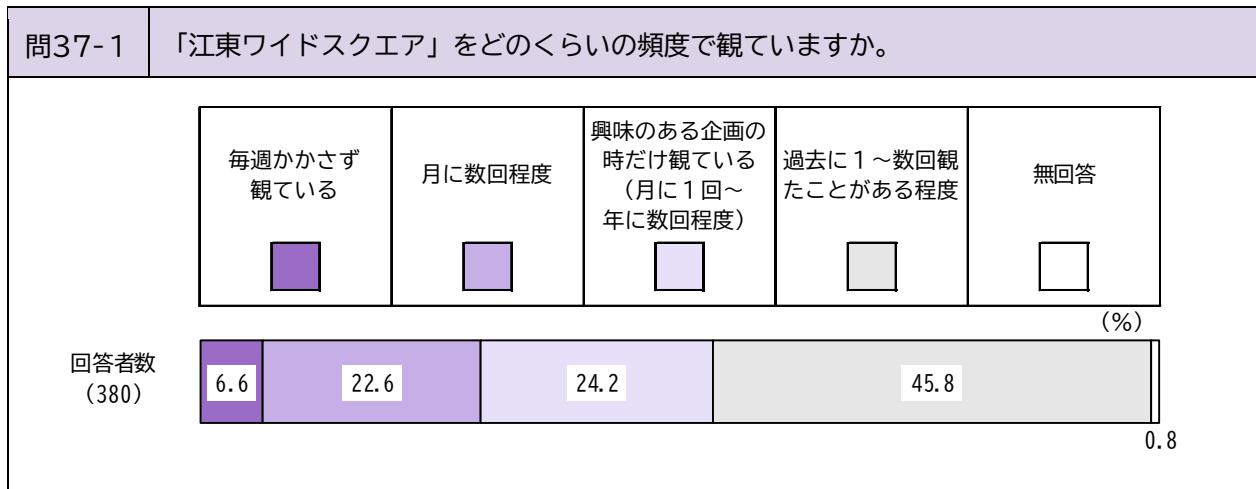


- 「江東ワイドスクエア」を観たことがあるか聞いたところ、観た中では、「ケーブルテレビで観た」(26.0%)が2割台半ばで最も多い。一方、「番組の名前は知っているが、観たことはない」(24.4%)も2割台半ば、「番組があることを、この調査で初めて知った」(42.0%)が4割を超えている。

(6) 「江東ワイドスクエア」の視聴頻度

新規

◇ 「過去に1～数回観たことがある程度」が4割台半ば

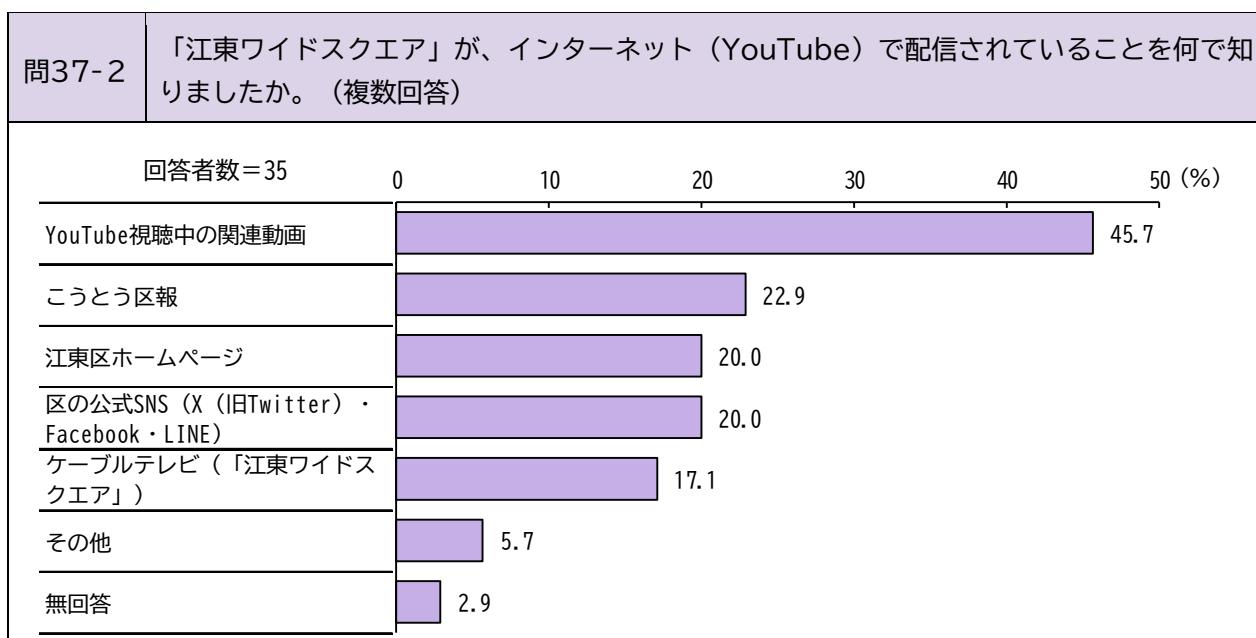


- 「江東ワイドスクエア」をケーブルテレビで観たことがあると答えた方（380人）に、どのくらいの頻度で観ているか聞いたところ、「過去に1～数回観たことがある程度」（45.8%）が4割台半ばで最も多く、次いで「興味のある企画の時だけ観ている（月に1回～年に数回程度）」（24.2%）、「月に数回程度」（22.6%）と続いている。

12
広報

(7) 「江東ワイドスクエア」インターネット配信の認知媒体

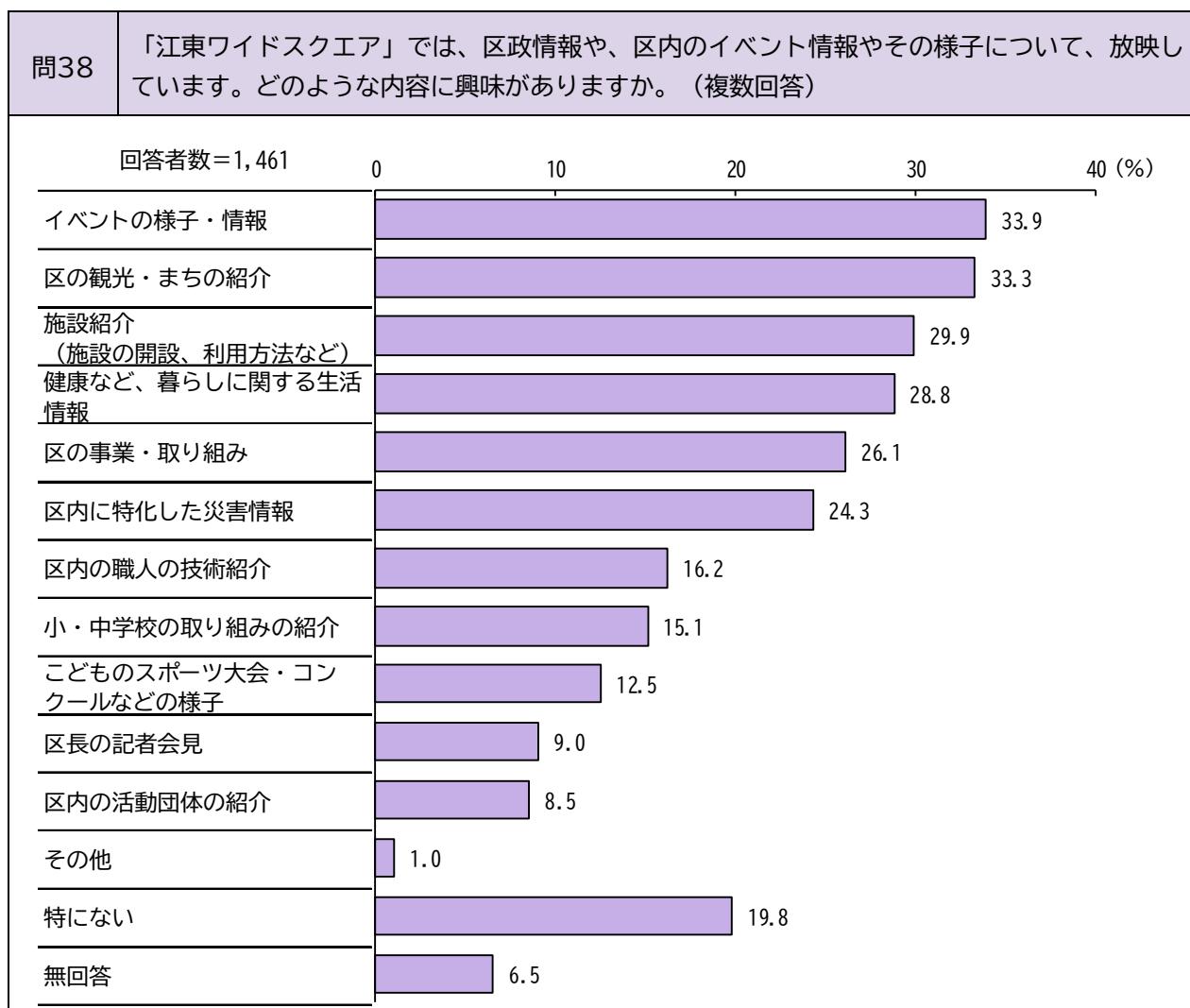
◇ 「YouTube 視聴中の関連動画」が4割台半ば



- 「江東ワイドスクエア」をインターネットで観たことがあると答えた方（35人）に、インターネットで配信されていることを何で知ったかを聞いたところ、「YouTube 視聴中の関連動画」（45.7%）が4割台半ばで最も多く、次いで「こうとう区報」（22.9%）、「江東区ホームページ」、「区の公式SNS（X（旧Twitter）・Facebook・LINE）」（20.0%）と続いている。

(8) 「江東ワイドスクエア」で興味のある内容

◇「イベントの様子・情報」が3割を超える

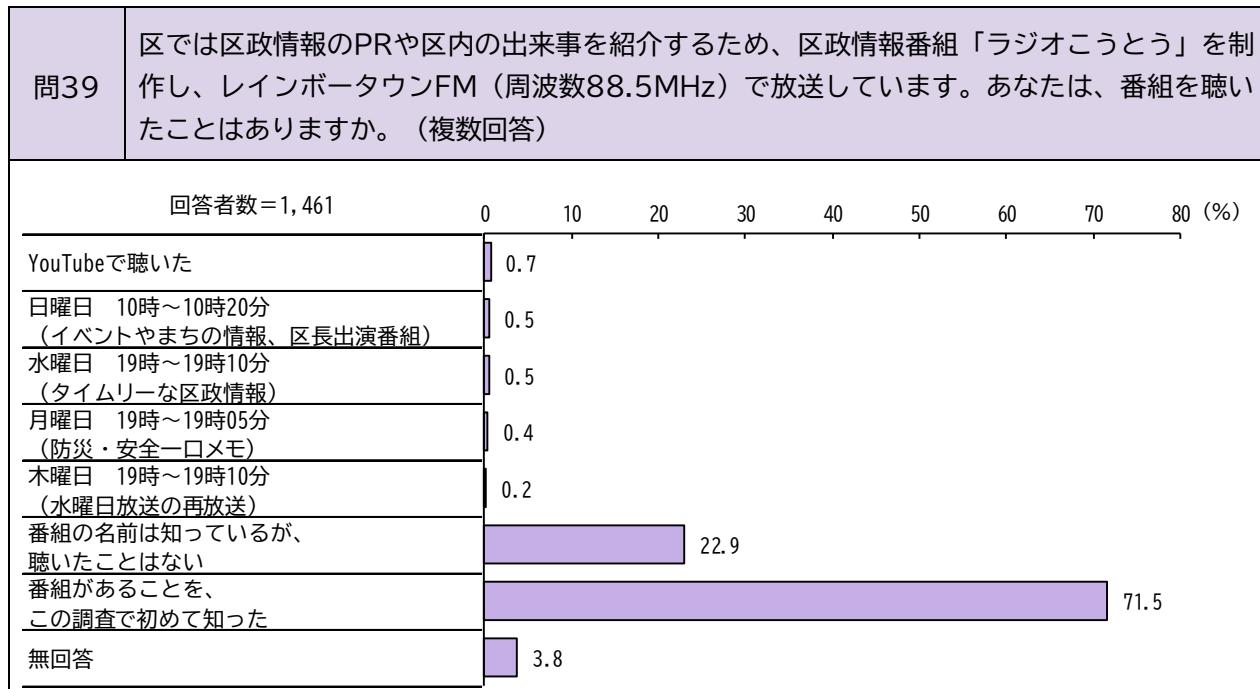


- 「江東ワイドスクエア」で、どのような内容に興味があるかを聞いたところ、「イベントの様子・情報」（33.9%）が3割を超えて最も多く、次いで「区の観光・まちの紹介」（33.3%）、「施設紹介（施設の開設、利用方法など）」（29.9%）と続いている。

(9) 区政情報番組「ラジオこうとう」の聴取歴

新規

◇ 「番組の名前は知っているが、聴いたことはない」が2割を超える

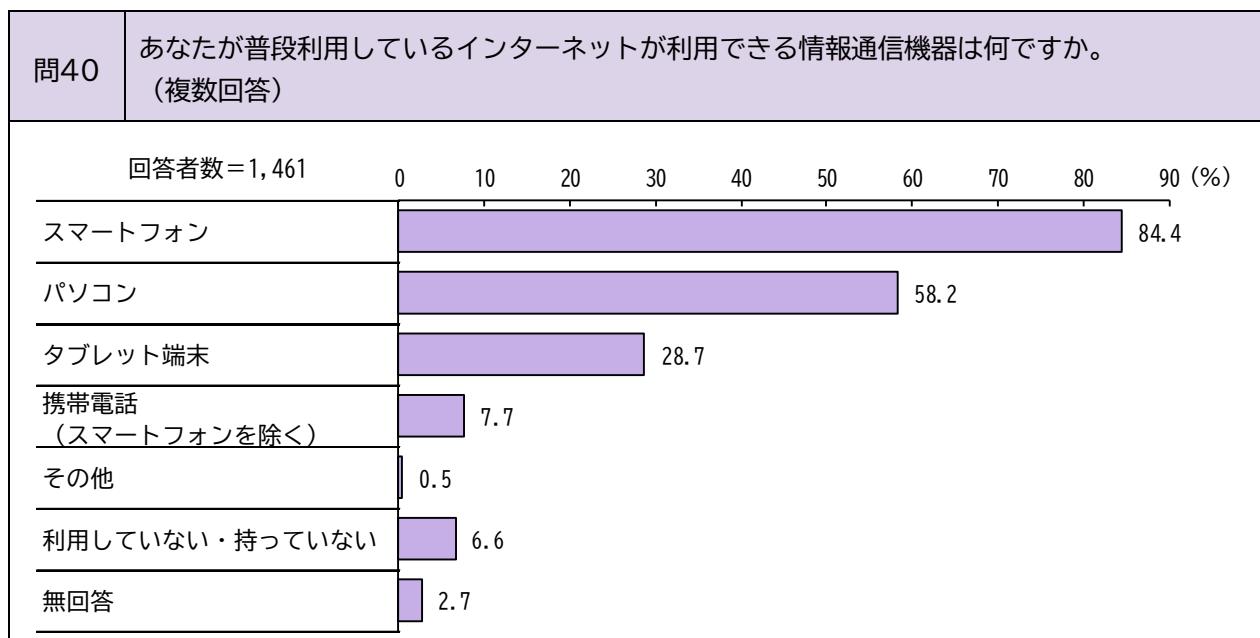


- 「ラジオこうとう」を聴いたことがあるか聞いたところ、「番組の名前は知っているが、聴いたことはない」（22.9%）が2割を超え、「番組があることを、この調査で初めて知った」（71.5%）が7割を超えていている。

13 DX・ICT

(1) インターネットが利用できる情報通信機器の保有状況

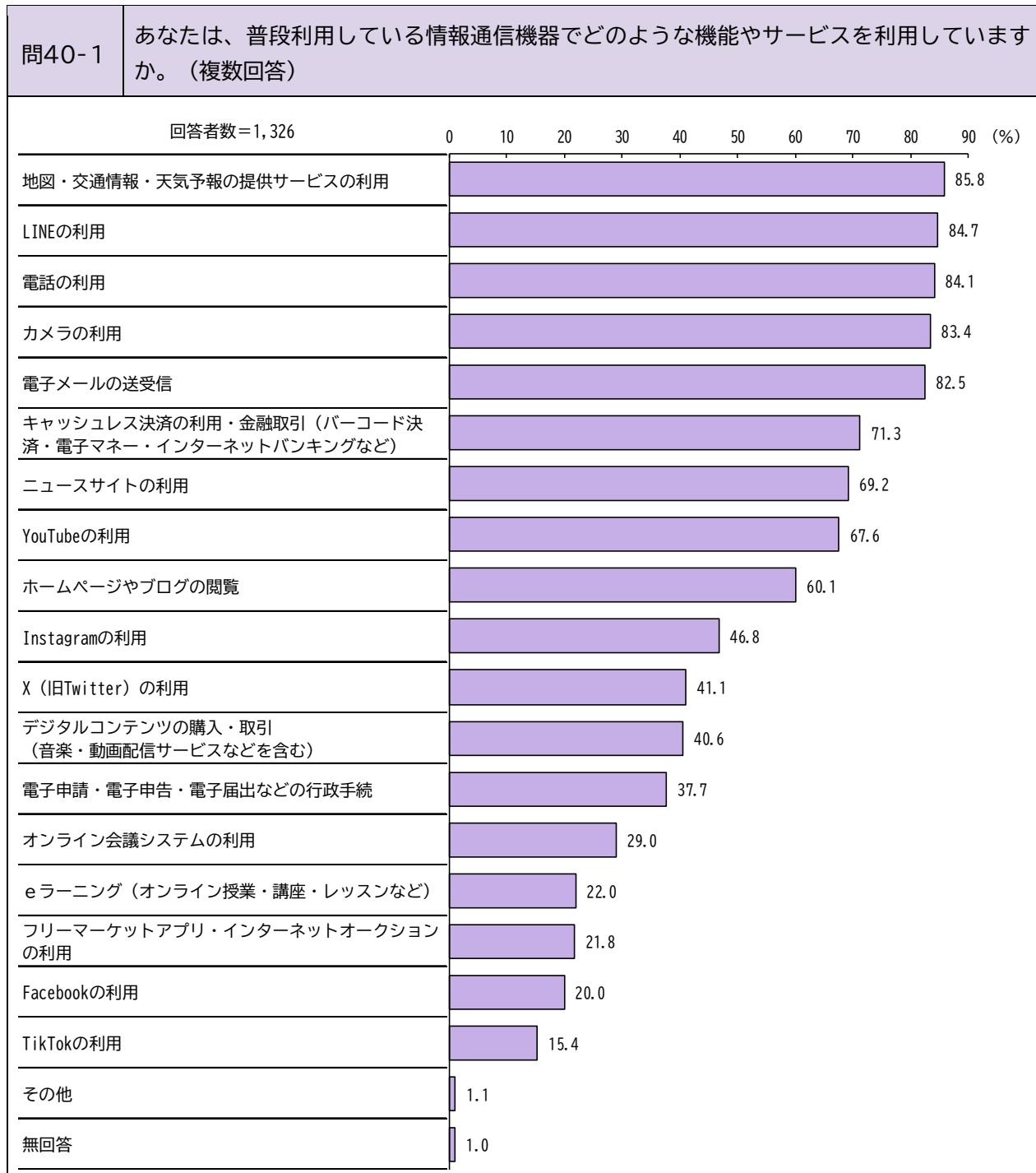
◇ 「スマートフォン」が8割台半ば



- インターネットが利用できる情報通信機器の保有状況を聞いたところ、「スマートフォン」(84.4%) が8割台半ばで最も多く、次いで「パソコン」(58.2%)、「タブレット端末」(28.7%)と続いている。一方、「利用していない・持っていない」(6.6%)は1割未満となっている。

(2) 情報通信機器で利用している機能やサービス

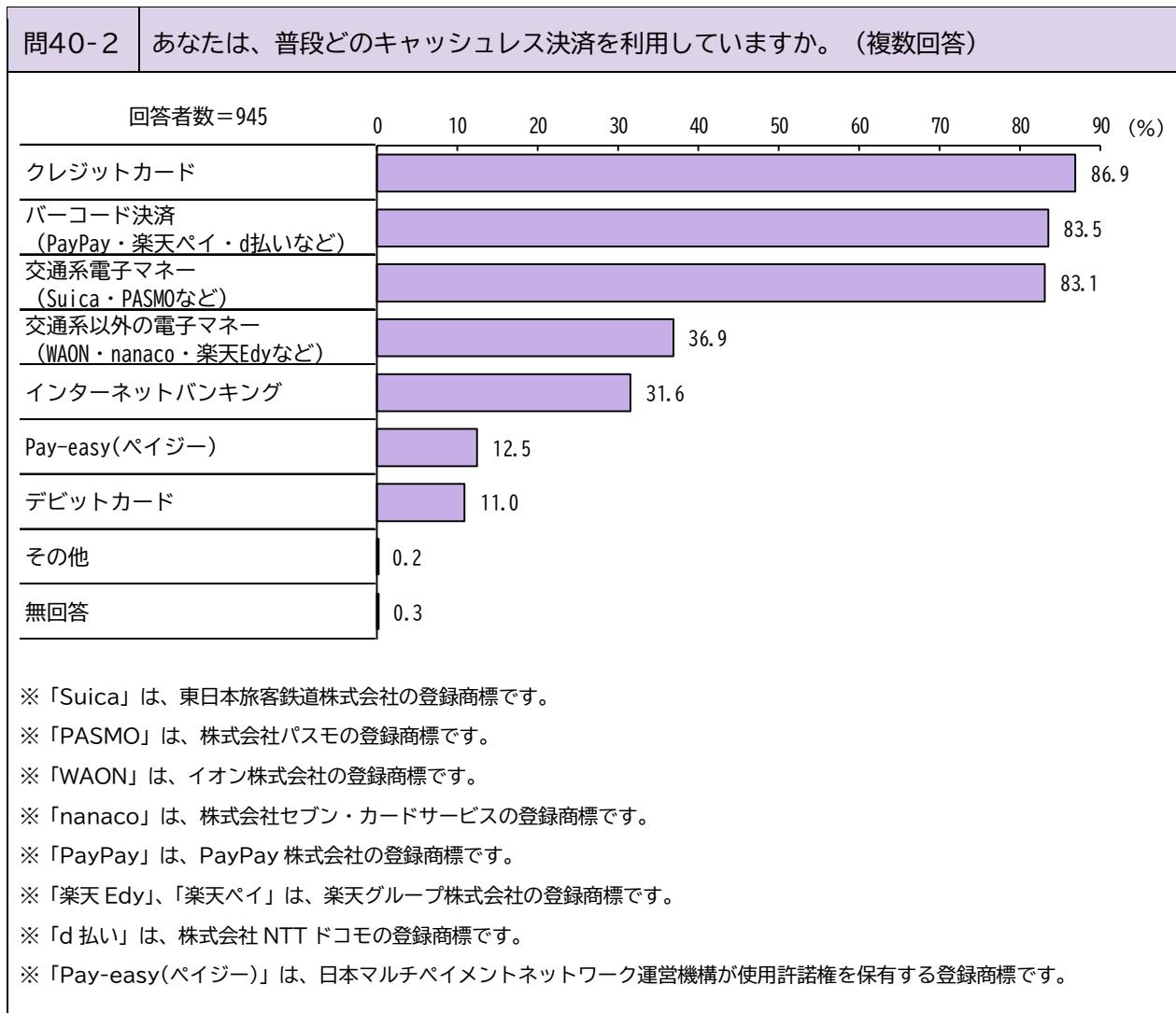
◇「地図・交通情報・天気予報の提供サービスの利用」、「LINEの利用」、「電話の利用」が8割台半ば



○インターネットが利用できる情報通信機器を利用していると答えた方（1,326人）に、どのような機能やサービスを利用しているか聞いたところ、「地図・交通情報・天気予報の提供サービスの利用」（85.8%）、「LINEの利用」（84.7%）、「電話の利用」（84.1%）が8割台半ばとなっている。

(3) 利用しているキャッシュレス決済

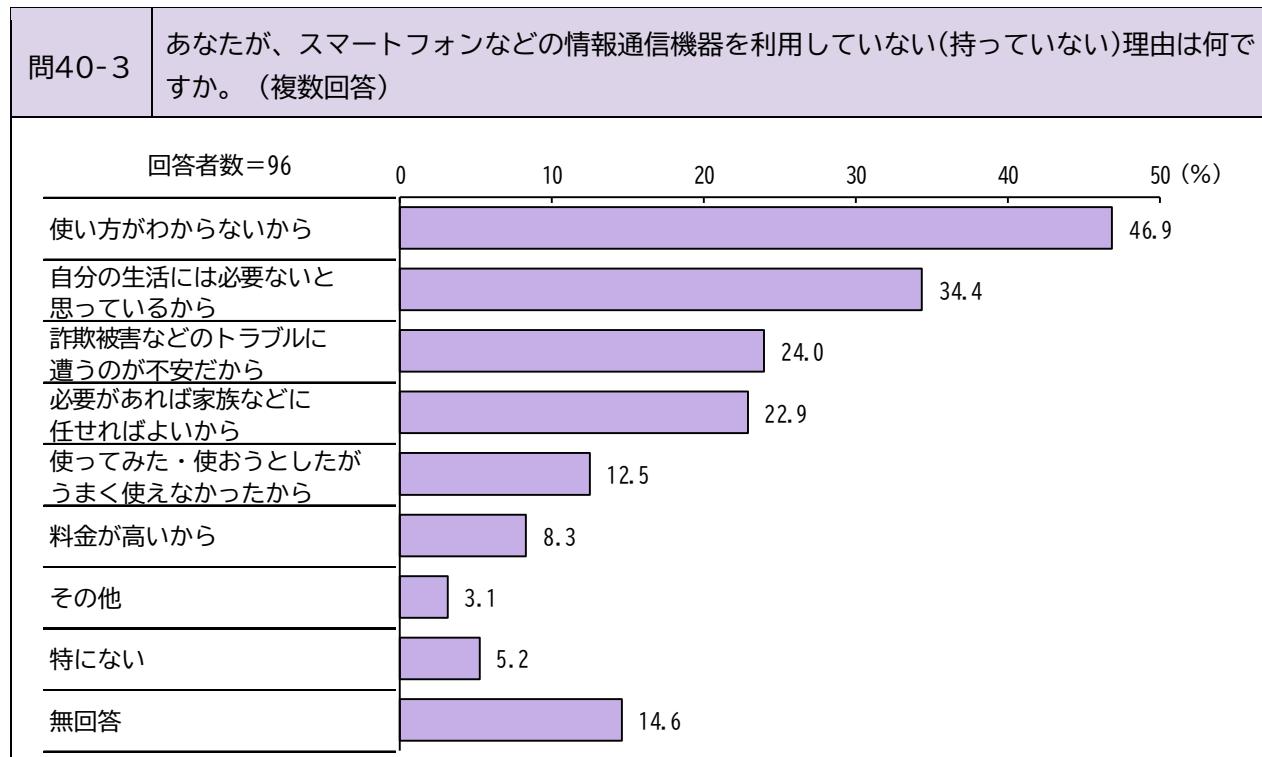
◇「クレジットカード」が9割近く



- キャッシュレス決済の利用・金融取引を利用していると答えた方（945人）に、普段どのキャッシュレス決済を利用しているか聞いたところ、「クレジットカード」（86.9%）が9割近くで最も多く、次いで「バーコード決済（PayPay・楽天ペイ・d 払いなど）」（83.5%）、「交通系電子マネー（Suica・PASMOなど）」（83.1%）と続いている。

(4) 情報通信機器を利用していない理由

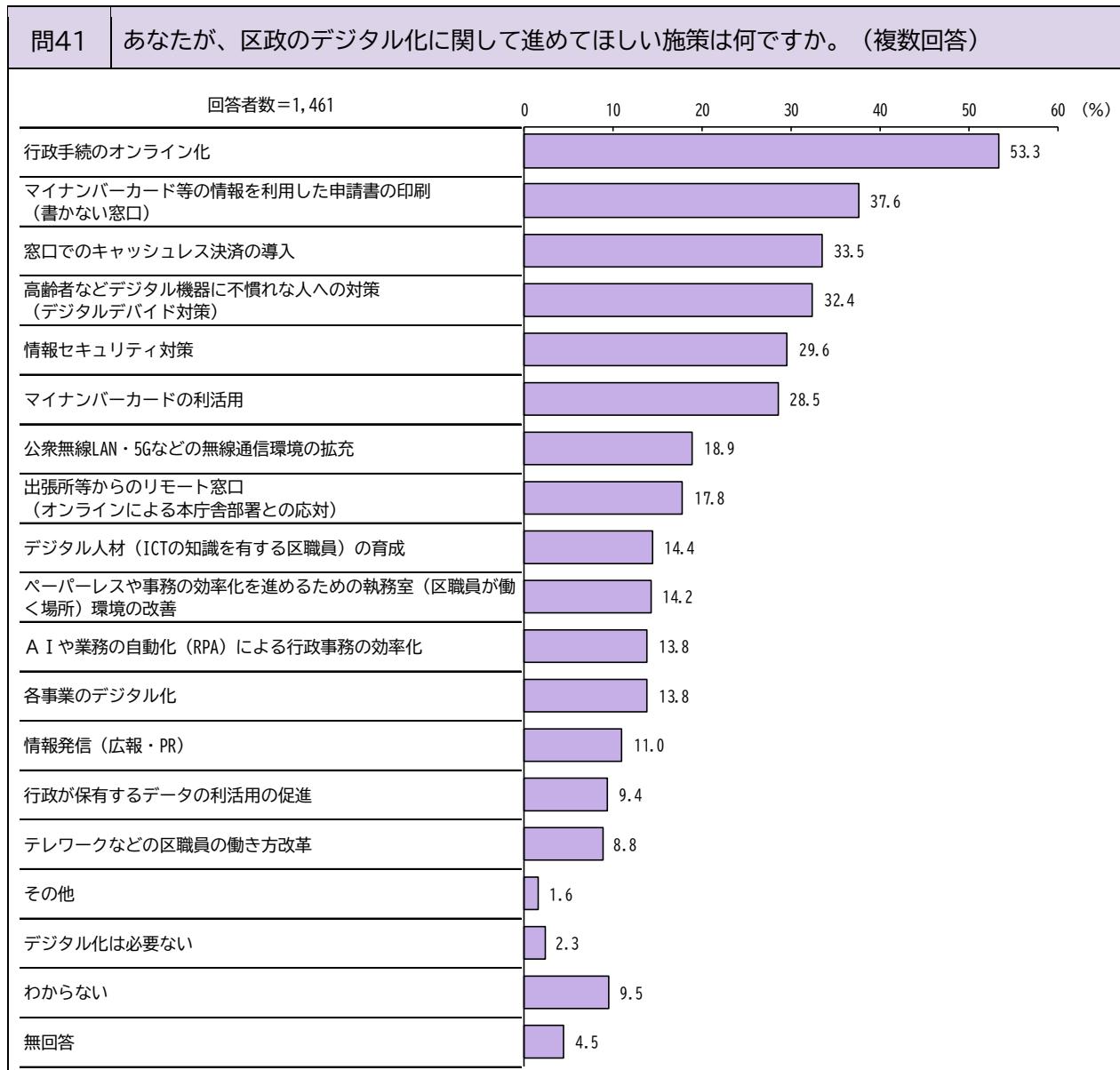
◇「使い方がわからないから」が5割近く



○インターネットが利用できる情報通信機器を利用していないまたは持っていないと答えた方（96人）に、利用していない（持っていない）理由を聞いたところ、「使い方がわからないから」（46.9%）が5割近くで最も多く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」（34.4%）、「詐欺被害などのトラブルに遭うのが不安だから」（24.0%）と続いている。

(5) デジタル化を進めてほしい施策

◇ 「行政手続のオンライン化」が5割を超える



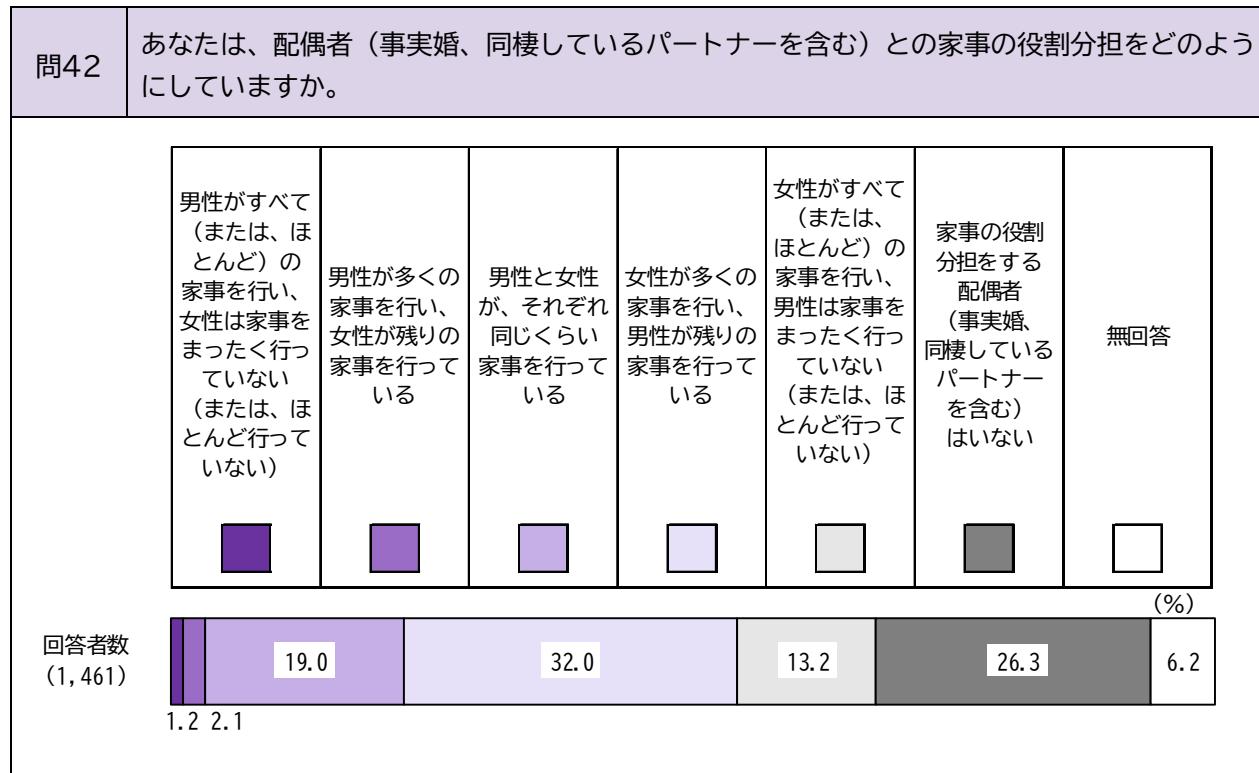
13
DX・ICT

○区政のデジタル化に関して進めてほしい施策を聞いたところ、「行政手続のオンライン化」(53.3%) が5割を超えて最も多く、次いで「マイナンバーカード等の情報を利用した申請書の印刷（書かない窓口）」(37.6%)、「窓口でのキャッシュレス決済の導入」(33.5%)と続いている。

14 男女共同参画

(1) 配偶者との家事の役割分担

◇「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」が3割を超える

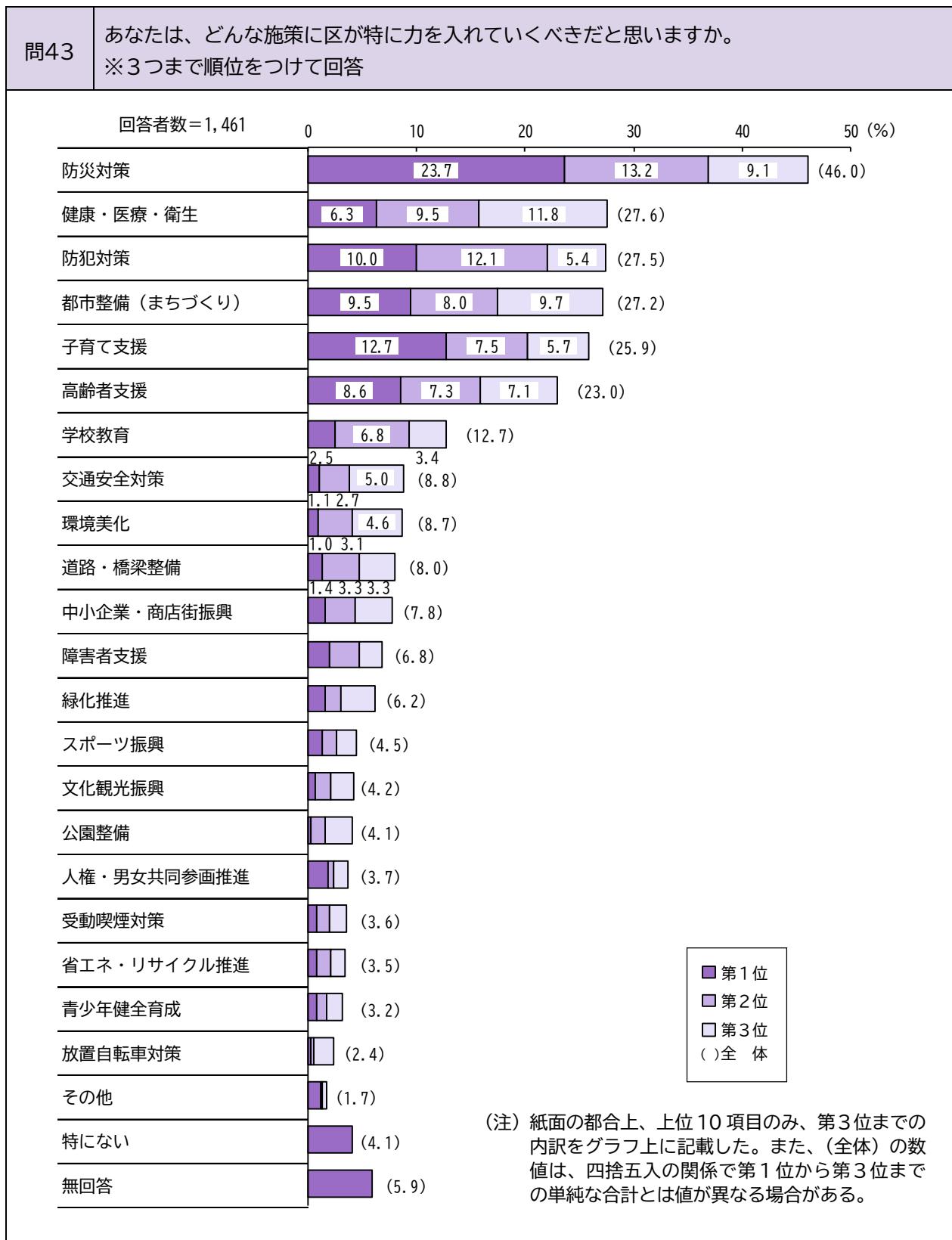


○配偶者との家事の役割分担について聞いたところ、「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」（32.0%）が3割を超えて最も多く、次いで「男性と女性が、それぞれ同じくらい家事を行っている」（19.0%）、「女性がすべて（または、ほとんど）の家事を行い、男性は家事をまったく行っていない（または、ほとんど行っていない）」（13.2%）と続いている。一方、「家事の役割分担をする配偶者（事実婚、同棲しているパートナーを含む）はない」（26.3%）は2割台半ばとなっている。

15 施策への要望

(1) 力を入れてほしい施策

◇「防災対策」が4割台半ば



○区に対して特に力を入れてほしいものを、第1位から第3位までを累計した《全体》でみると、「防災対策」（46.0%）が4割台半ばで最も多く、次いで「健康・医療・衛生」（27.6%）、「防犯対策」（27.5%）、「都市整備（まちづくり）」（27.2%）と続いている。

第27回 江東区政世論調査〈概要版〉

令和7年（2025年）12月発行 印刷物登録番号（7）56号

編集発行 江東区 政策経営部 広報広聴課 広聴相談係
江東区東陽4-11-28 2階22番窓口
電話：03-3647-2364 FAX：03-3647-9635

調査機関 株式会社ケー・デー・シー